



【牢獄編】

女王陛下の

降

伏

女王陛下の降伏 牢獄編



女王陛下の 降伏

《牢獄編》

蛸 壺 屋

《デッドオアアライブ編》のあらすじ

マティオン大陸の国々は、数百年に渡る平和の下で共存していた。しかし大国マティス王国は突然隣国パトリシアの領有権を主張し、辺境部族の傭兵フューリアス族を侵攻させた。パトリシア女王フラッフは使者として義姉の近衛団長タイニーを送るもタイニーは虐待の上、囚われの身となってしまった。

軍事力を持たず同盟国も頼れないフラッフ女王はとうとう降伏を決意するのであった

状況図

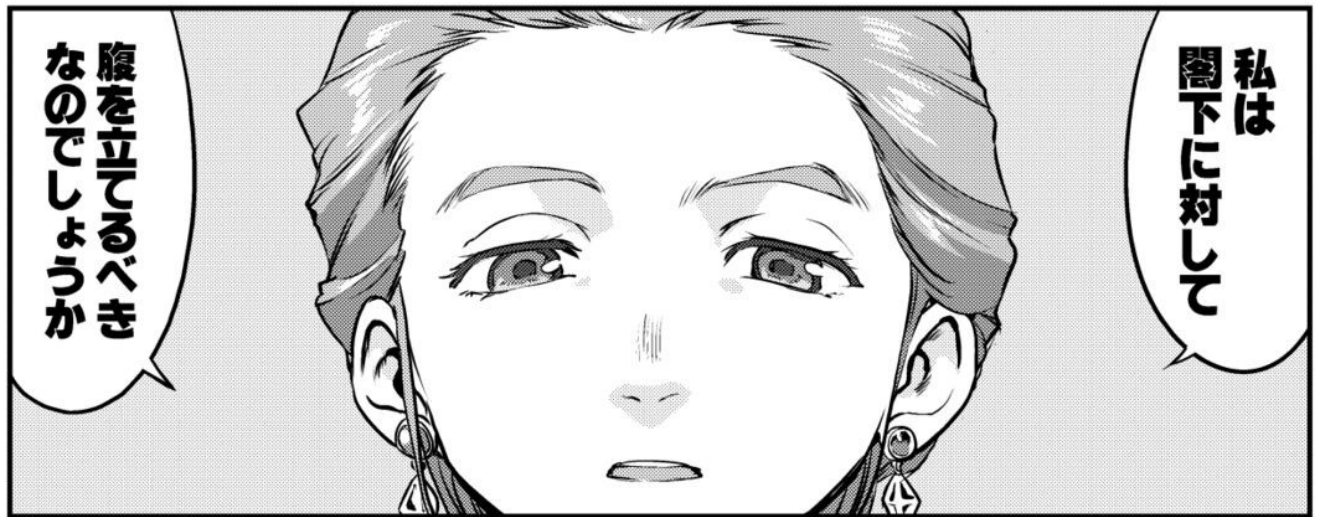


《占領編》のあらすじ

絶望に包まれるパトリシア城のフラッフ女王に使者のグレブス宰相から降伏が受け入れられたと伝えられる。

遂に蛮族入城の日を迎えフラッフは友好関係を築こうと努力するが蛮族の理不尽で屈辱的な要求はエスカレートするのであった。

女王は公衆の面前で恥辱の扱いを受けた後、王族の女達と共に地下牢へと監禁された。





お城に
地下牢があるのは
知ってたけど

実際見たこと
はなかった



床は板張り

藁のベッドに
シートが大小6枚

コップが1個

監房を
水道が流れてて
水が自由に使える
のは助かるわね

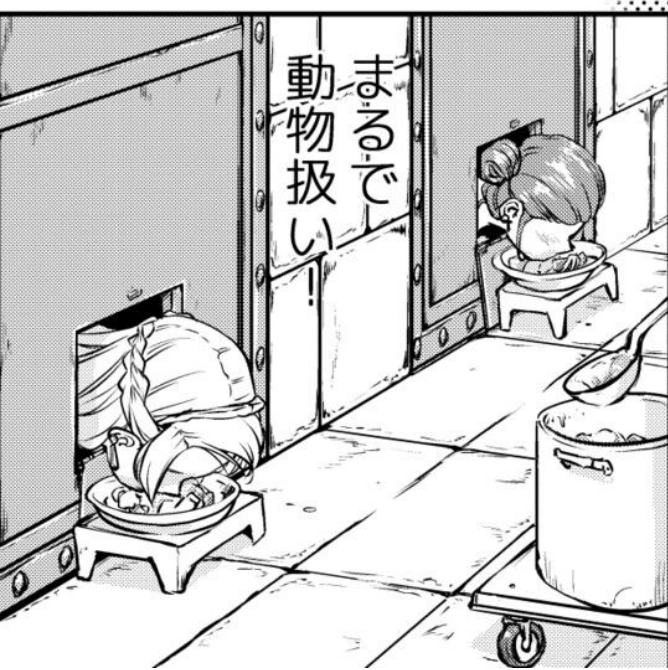
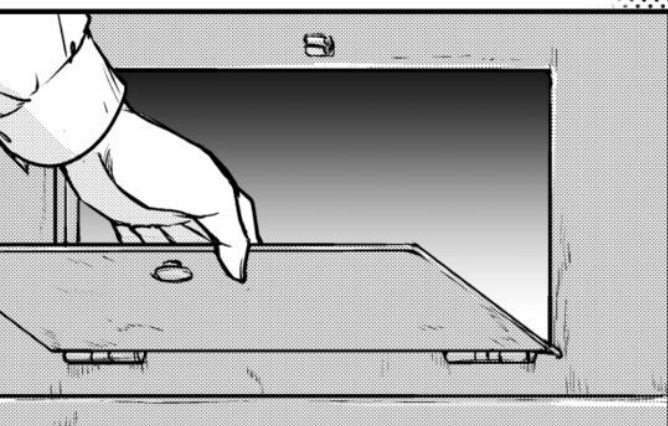
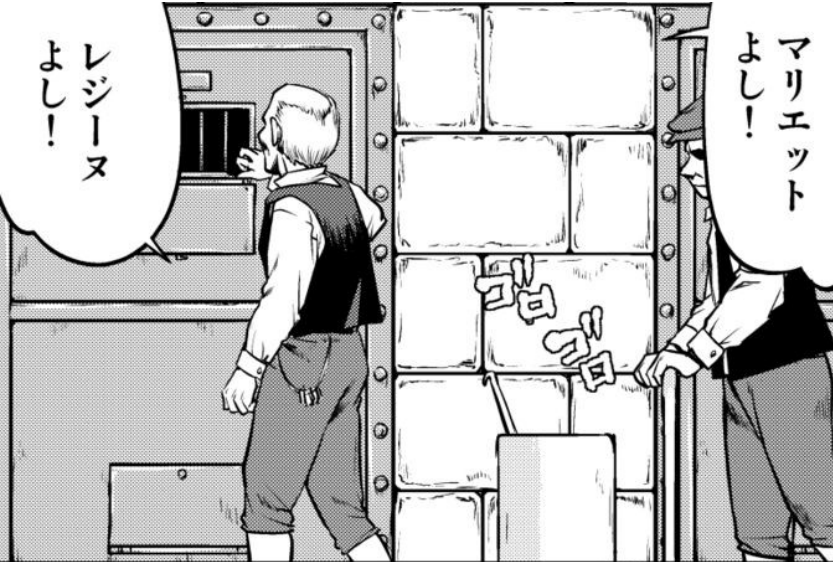


囚人が全裸で
収容されるのは

悪趣味
だわ

父上が導入
した規則とか





犬みたい
這いつくばって

号令で
時間内に
食べないといけない

でも料理は
城の住人の
食べ残し
なので

味は
おいしい

トイレは
ほうろう製の
ポティーへ
おまる

ぽろぽろ

ぽー

中身を
捨てられるのは
1日1回

10分

他には
窓に掛けられる
服役態度の成績

一日問題を
起こさないと
マルが1個

マル6個で日曜は
中庭に出ることが
許される

マルは
看守の判断で
追加や消去
される

ここでは
自由も
不自由も
マル次第

皆すぐに
従順な囚人になった

マル
〇〇〇



考えてみれば
国難に国が纏まらず
私がこういう目に
会ってるのも

父上が
良い政治を行わず
こんな施設なんか
使ってたせいでもあるわ

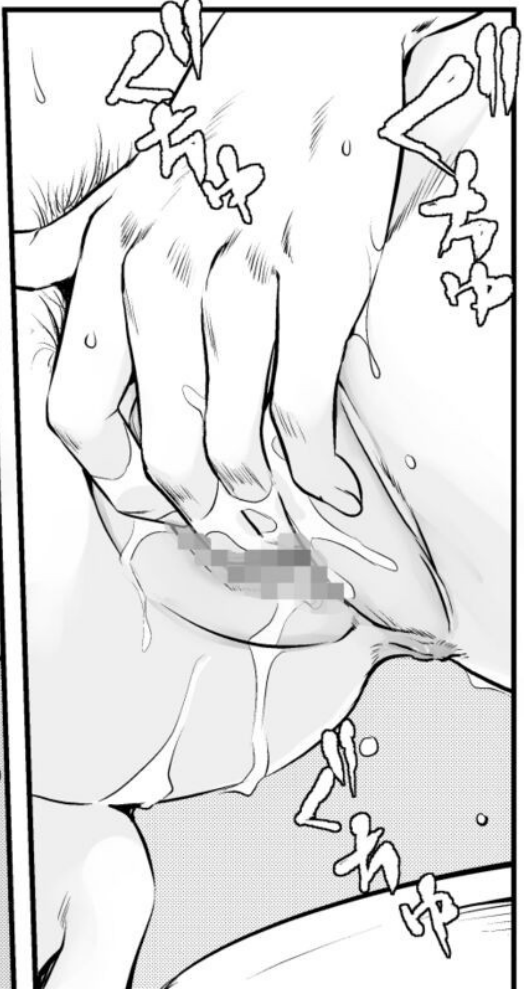
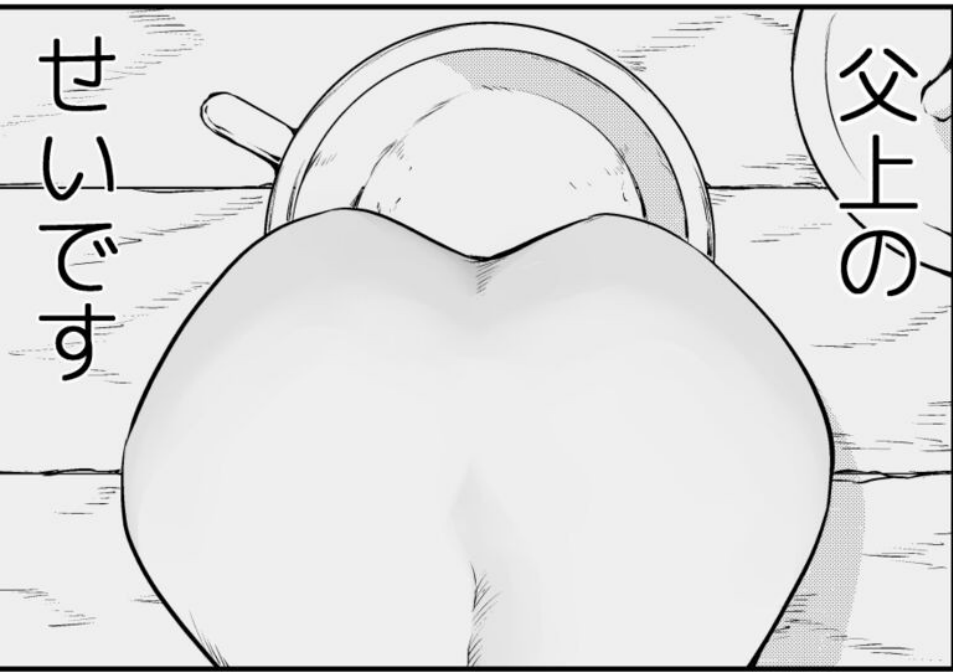
そのせいで

私はあんな...



そのせいで...
私はすべてを
ひり出す姿を

全員に
見られた





最低...

何やってんだ
コイツ
最低の王だな

最低...

こんな女に
期待して
バカを見た

ハハハハ!
王がウンコで
興奮してるぞ

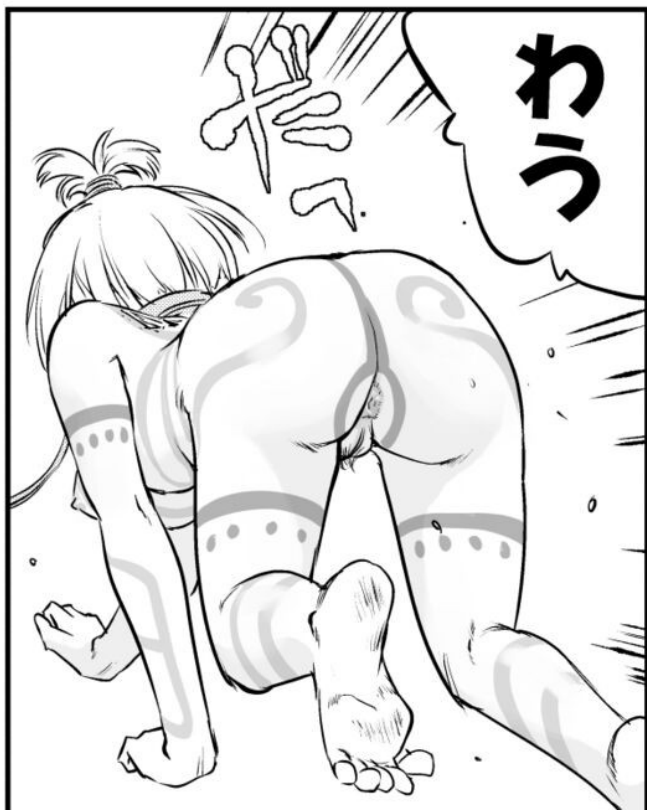
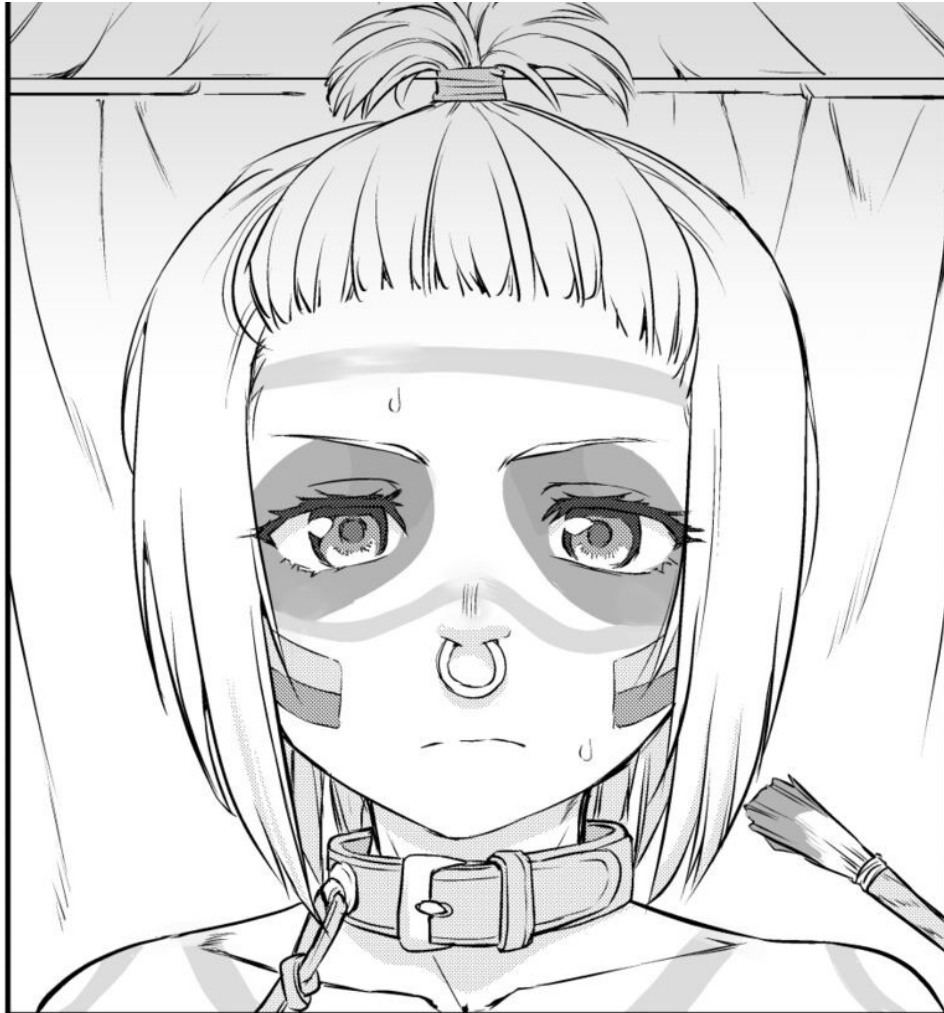
なるる

なるる

なるる

なるる







フフフ
犬の中じやお前が
一番上手いな

わん

チンチン
ベグ



おっ



少しコツも
分かってきた

叩かれる時は
力を抜いた
方がいい

私の命も
皇子が構って
くれる間だけだろう

わん!

王族はすでに
皆殺しにされた
らしい

尻を向けろ

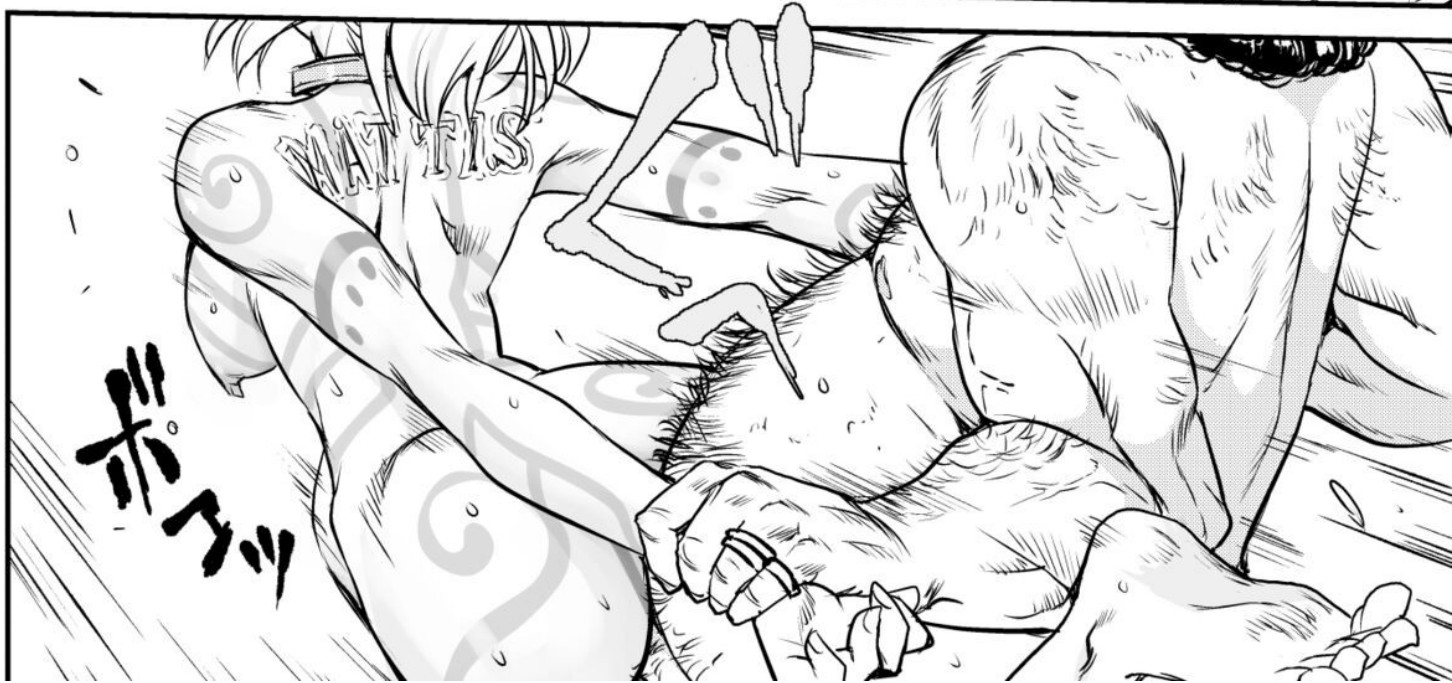
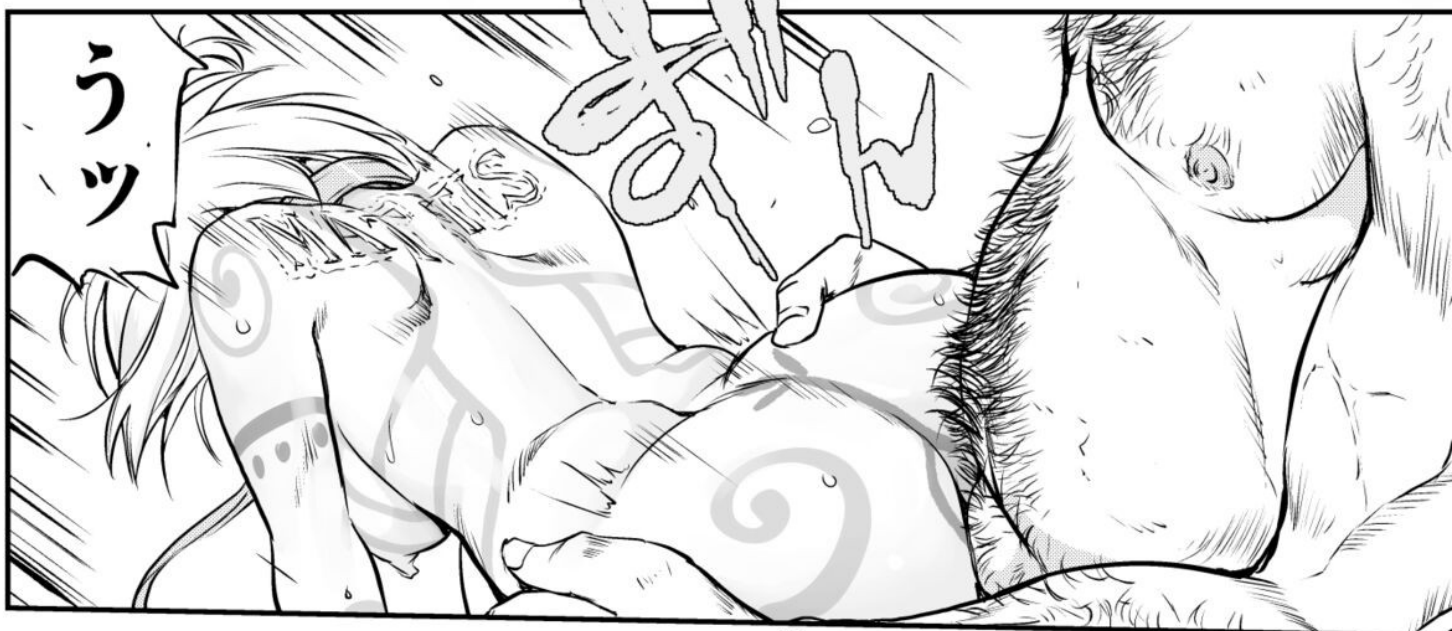


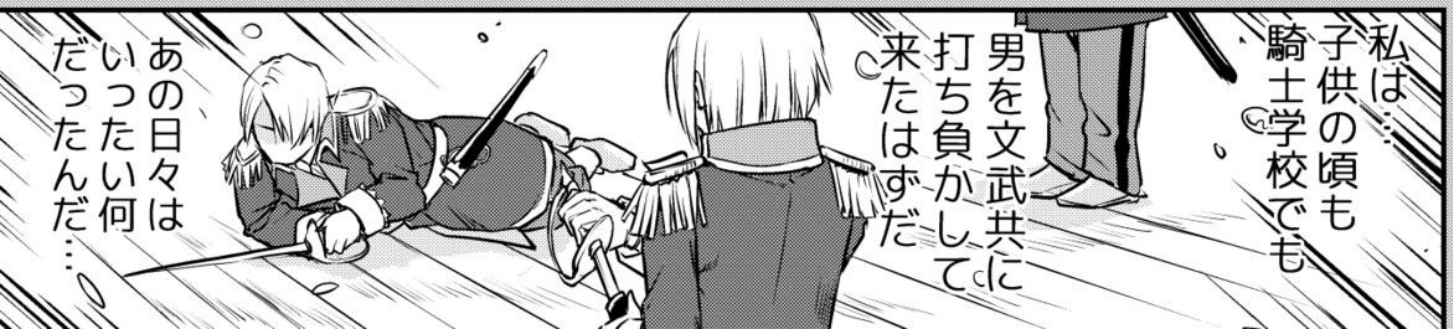
音が響くと
この男は喜ぶから

尻の肉もダルダルに
緩めて待つ

ほう

どうやら
叩く必要も
無くなったようだな





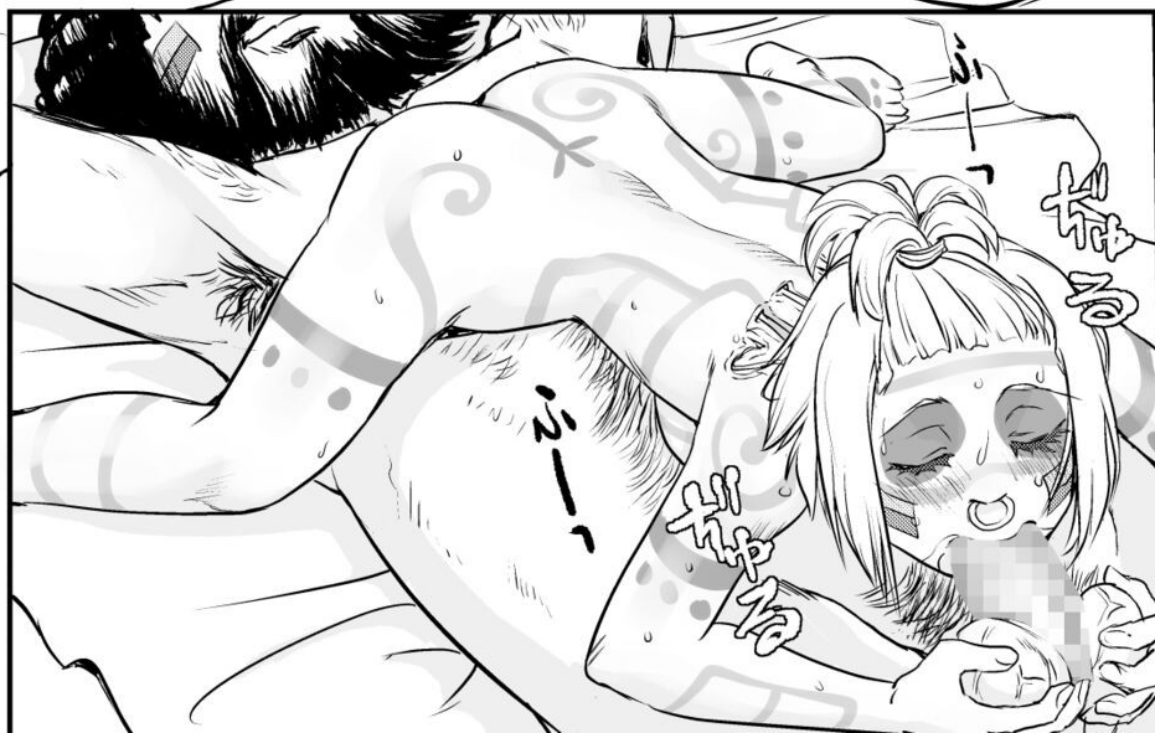
突かれる度に
身体が
裂けそう

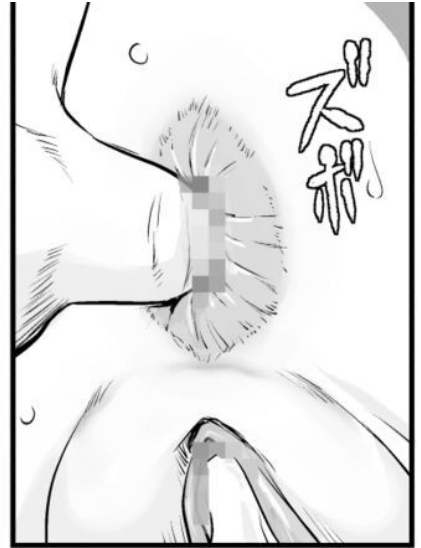
あ
合わせないでー！

ああ…
注がれてる

イク
ツツ

こんな
扱いで…





初めてお目にかかります

通訳は必要ですか

いらん

シュティン公
ケイン!

なんだコイツ
その犬女ど
ヤッてたのか?

モノくらい
仕舞ってから通せ
野蠻人め!!

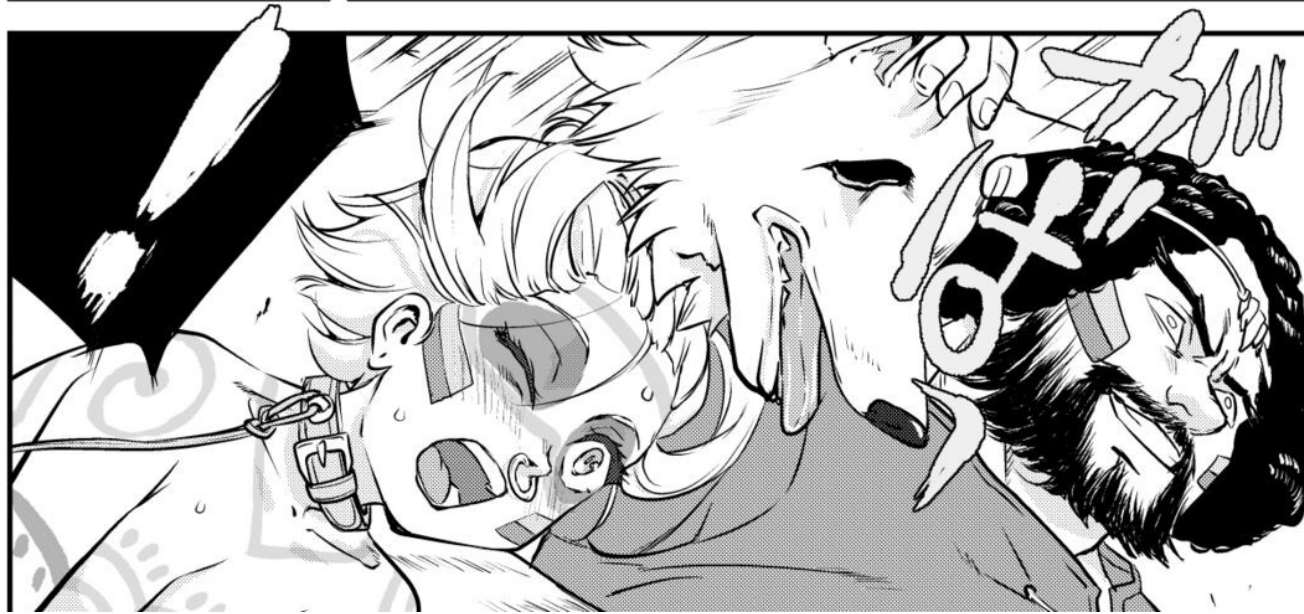
現在我國の近衛隊は
私の指揮下にあります

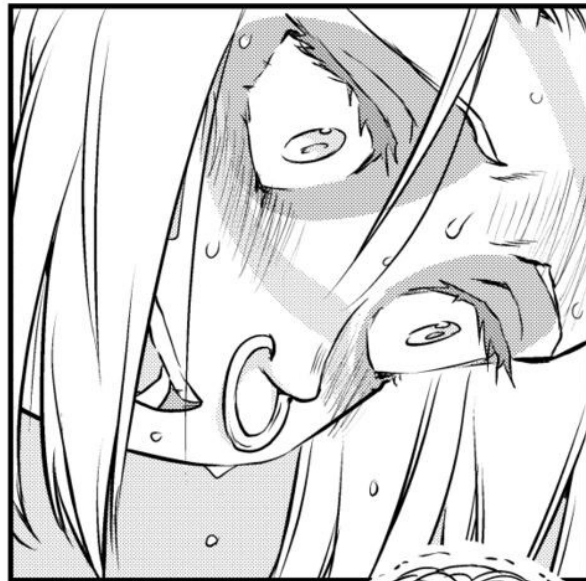
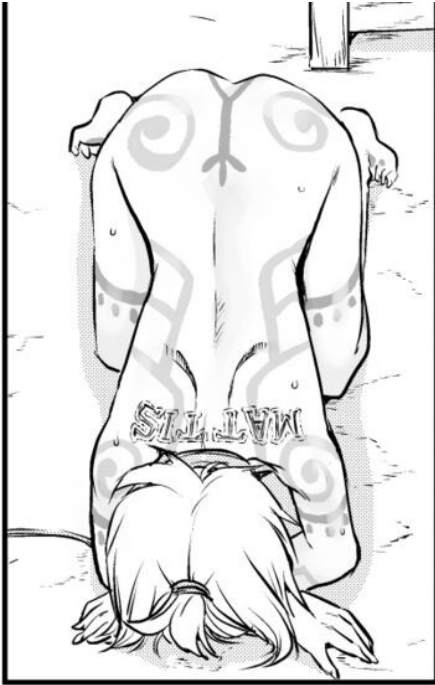
貴軍との
不測の衝突を
避けるために

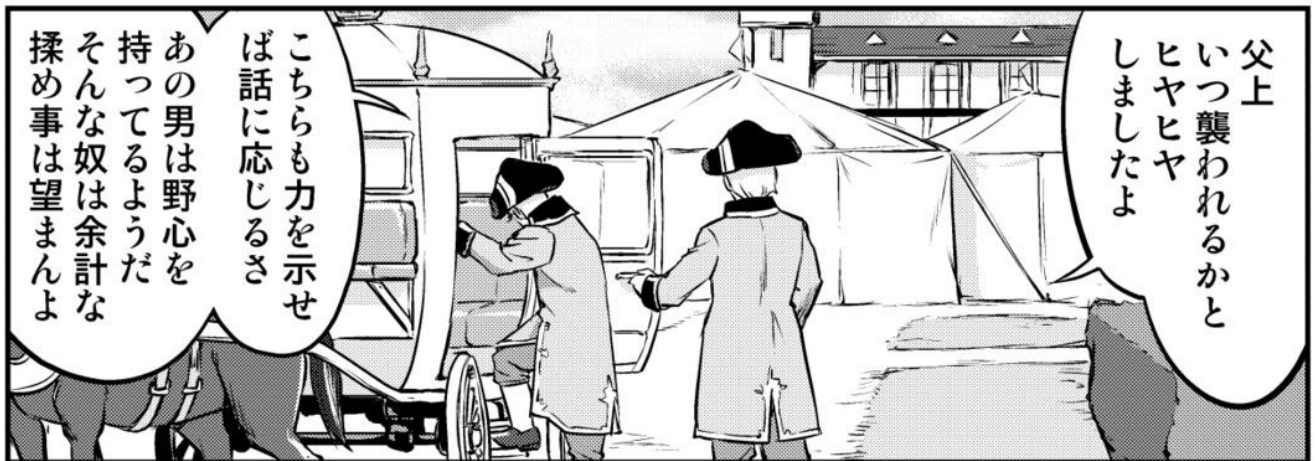
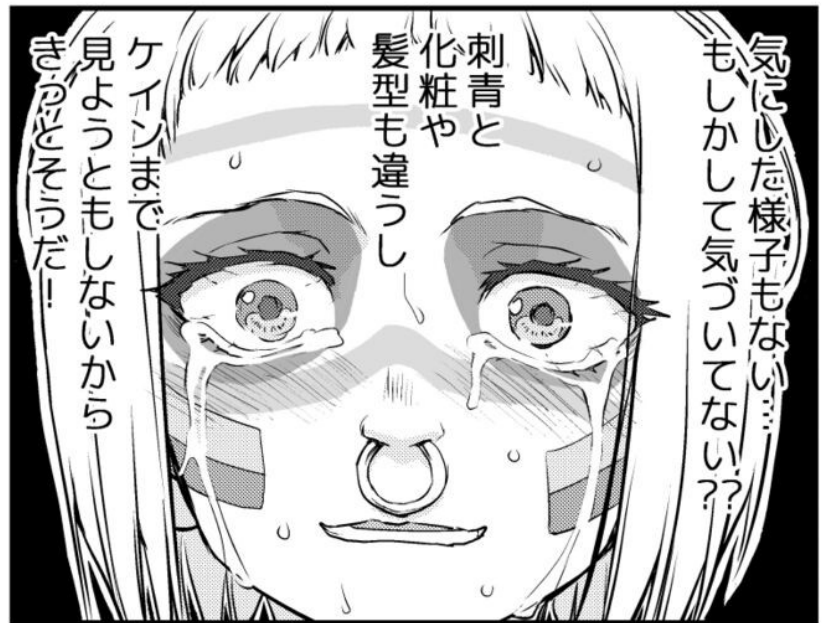
我々は互いに
密接な意思疎通を
計っておくことが
重要と思います

くははは
はっはっは

パトリシアの
近衛隊だあ?









全部
舐め取るまで
渡すもんですが!!

フン
プレッシャー
掛けても無駄よ



ああッ
もう回収
始まった

はぐ
はぐ

早すぎでじよう!
タダでさえ
食べにくいのに



あのー
陛下

そろそろ
お皿を宜しい
ですか:



タ
タ
チャーンナ!?

かみ



さ早く
これを啜えて



お腹が空いてる
のですね

ゴソ



あらら

ウツ!

アッ

今日からまた
ここで陛下の
お世話をする
ことになりました

後で
説明します

どういふこと
かしら……

私の身を案じて
ワザワザ看守に
なってくれたの？

あ……でも
タチヤーンが
看守なら

採点
甘くして
くれるかも！

トール夫人は
入監以来
服役態度良好！

一度も減点される
ことなく昨日
スコアを達成した

よって本日
マティス王に赦され
自由の身となる！

皆さん
私はお先に
失礼しますが

皆さんも続かれて
外でお会い出来る
日を待ってます

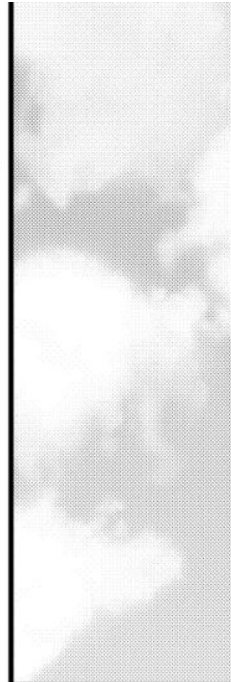
希望がある人は
うらやましい

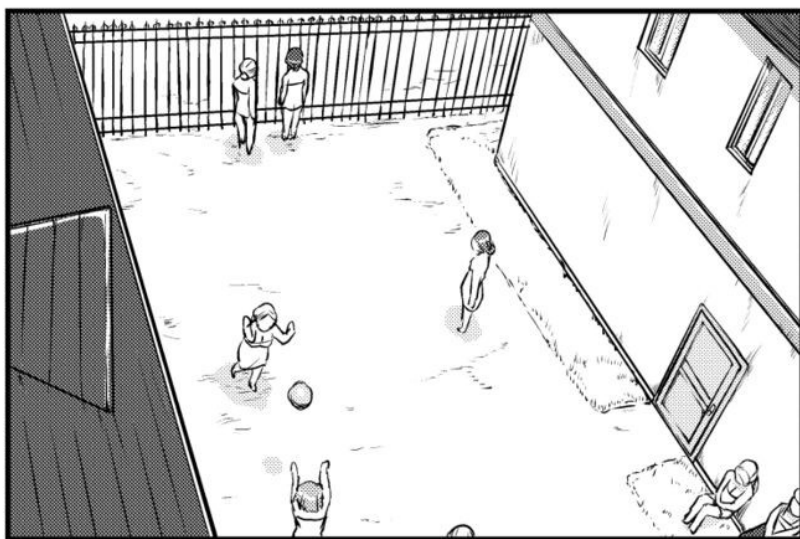
おめでとう
お元気で

私も必ず
続きます！

おめでとう

私はどう頑張っても
釈放なんてムリ……





私は沙汰あるまで
フラッフ様の
お美しさを取戻し
保っておくよう
言われています

え？
誰に…

直接は宰相
からですが
誰の意向かは
存じません

ねえ
タチヤーナ

今国は
どうなってるの

マティスから
交代の役人が次々
到着してますが

蛮族と
余り仲が良くない
ように見えますね

パトリシアの統治は
マティス皇太子が行うようです
こちら先日も到着しました

5国王を招いての
就任式典を開くようです

国王達は
断れませんよね

私が思うに
フラッフ様の健康と
身なりを整えさせるのは
その式典に列席させる
為じゃないかと

今さらなぜ
何の力もない
私を？

わかりません
がともかくフラッフ様の
状況が良くなるのですし
与えられる物は
受け取れば
良いのです

私も全力で支えます
早速始めましょう！

もっと早く
もつと高く！

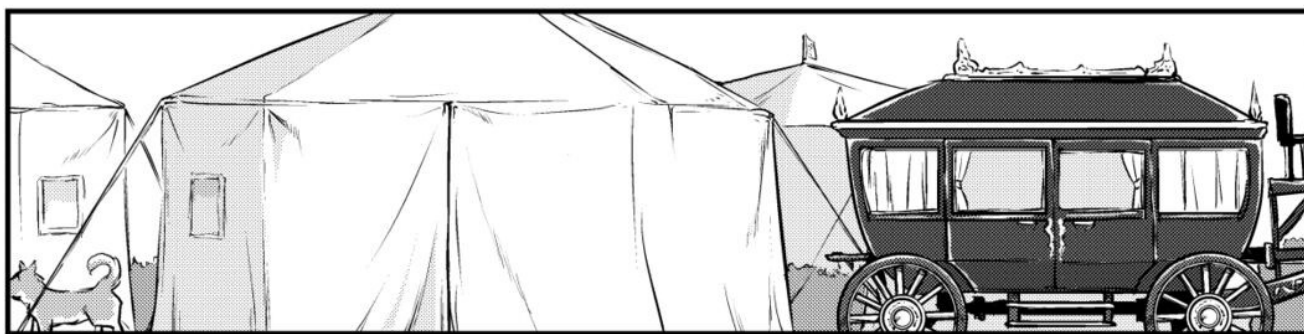
体力
落ちてますよ

シート
お静かに

食べたい物があれば
何でも承ります

タチヤーナ
ご家族は
お元気？

はい
幸い以前と同じ
お給金も頂いてます

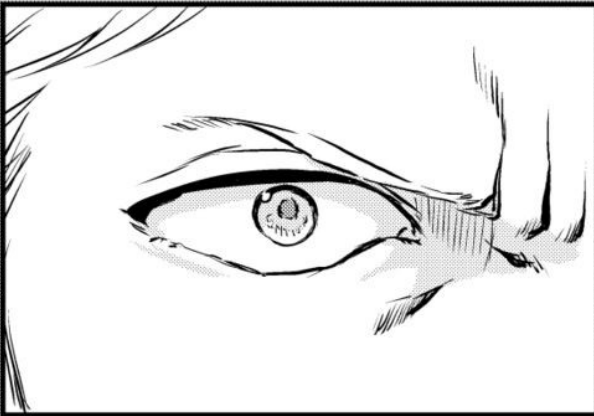


若い頃は美男子で鳴らし
多くの愛人を抱えていた
パトリシア王は

6 国会議で軽口を言った

マティス王殿は
我々と違い
女性の美しさには
ご興味が無いと見える

プツ…



左様
私は外見など
でなく

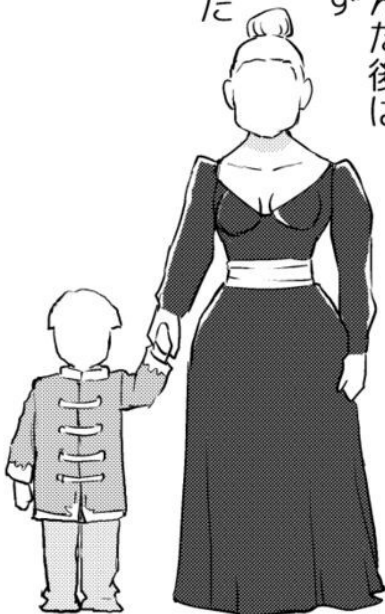
奥の高潔な人格と
知性を尊敬しておる



しかしマティス王は
王妃が第一子を生んだ後は
本邸には寄り付かず

若い女と別邸で
暮らすようになった

母親似的
皇太子ステパンが
父親と接するのは
公式の場だけだったという



素晴らしい！
それぞ賢人の嫁選び
というもの

我々凡俗の輩では
及びも付かぬ所です
乾杯！



マティス国軍の
総司令官だと!?

そんな要求が
通ると思うか

報酬は約束した
金と穀物で全てだ

フューリアスが
パトリシアを落とす間
お前はベッドで
寝てただけだ

もういい
お前の顔^{ツラ}を見ていると
気分が悪くなる
マティスと直接話す
からそう伝えとけ

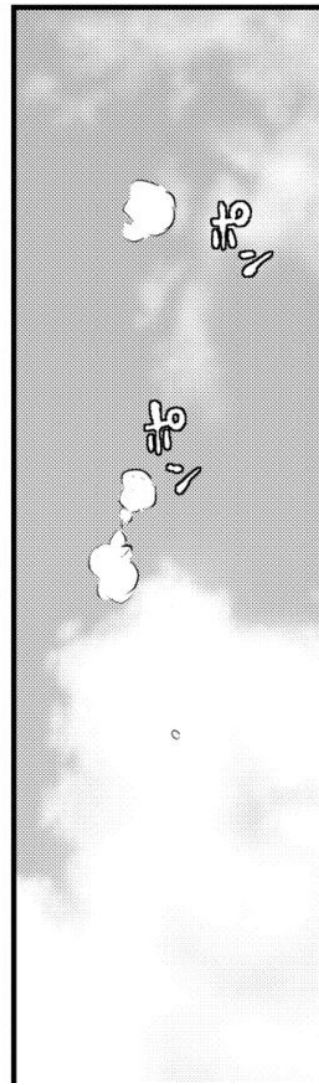


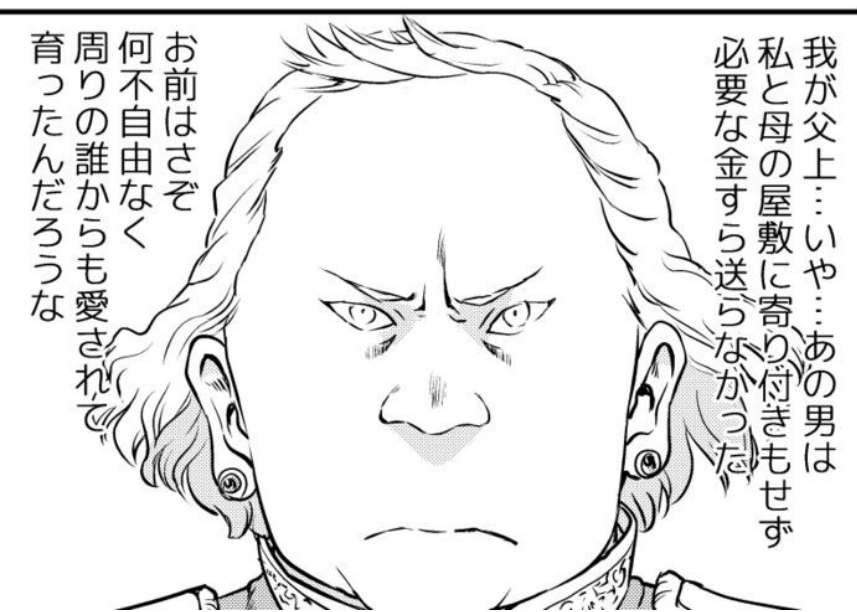
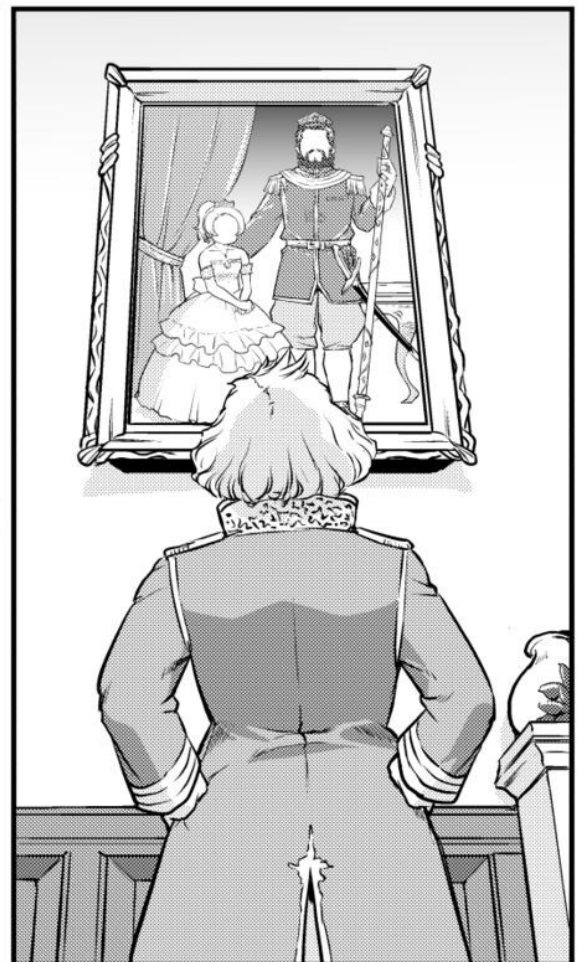
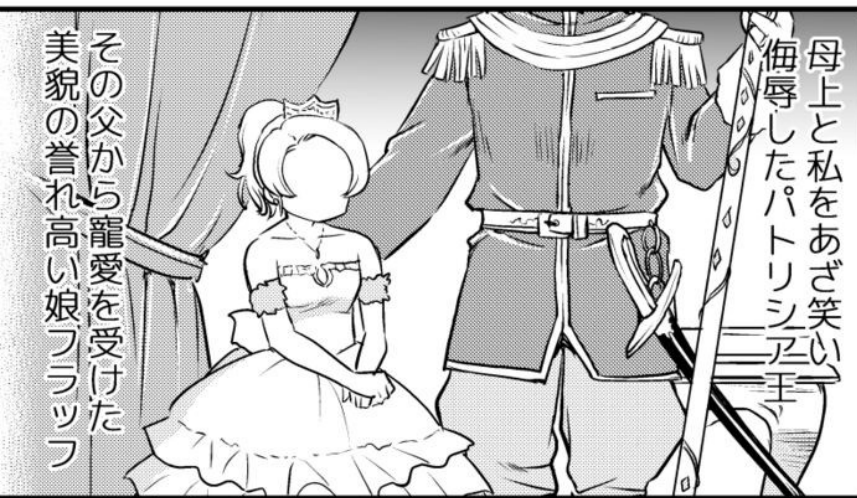
今日は外が
騒がしいわね
タチヤーナ
あれもそう
なの?

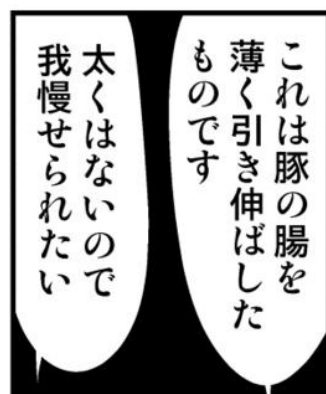
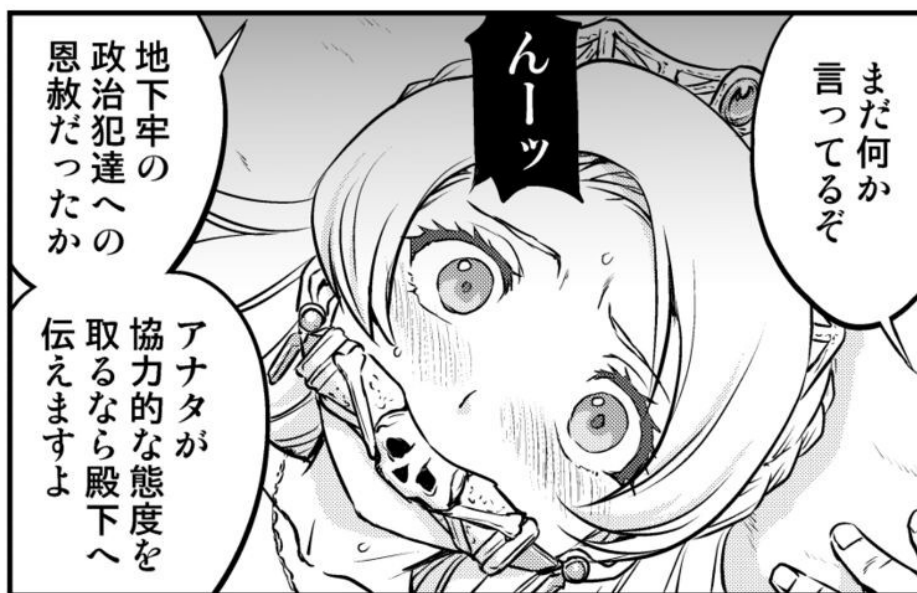
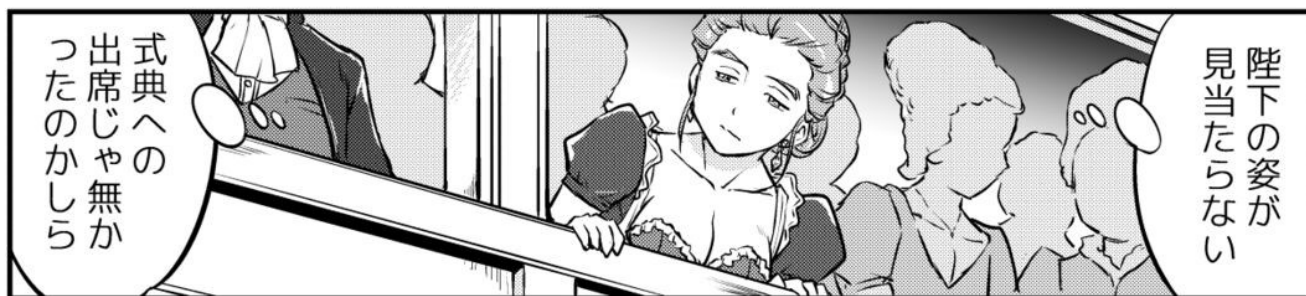
ハイ
昨日までにゲストの
王様達が到着して
明日が式典の予定です

フラッフ様
ではガウンを

ああ
いいわー
ちゃんとした
服なんて久しぶり



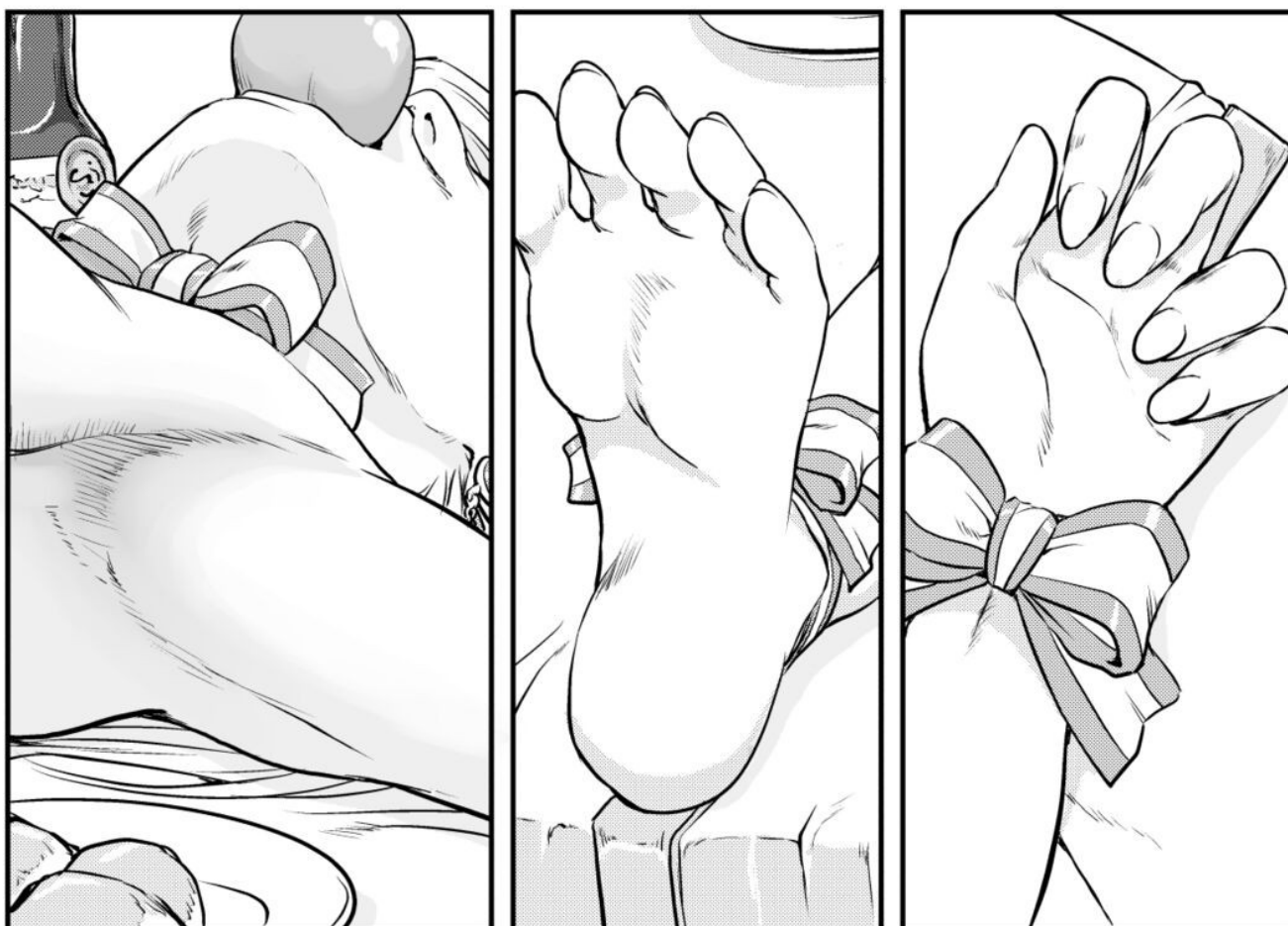




翌日

地下牢
上部別館

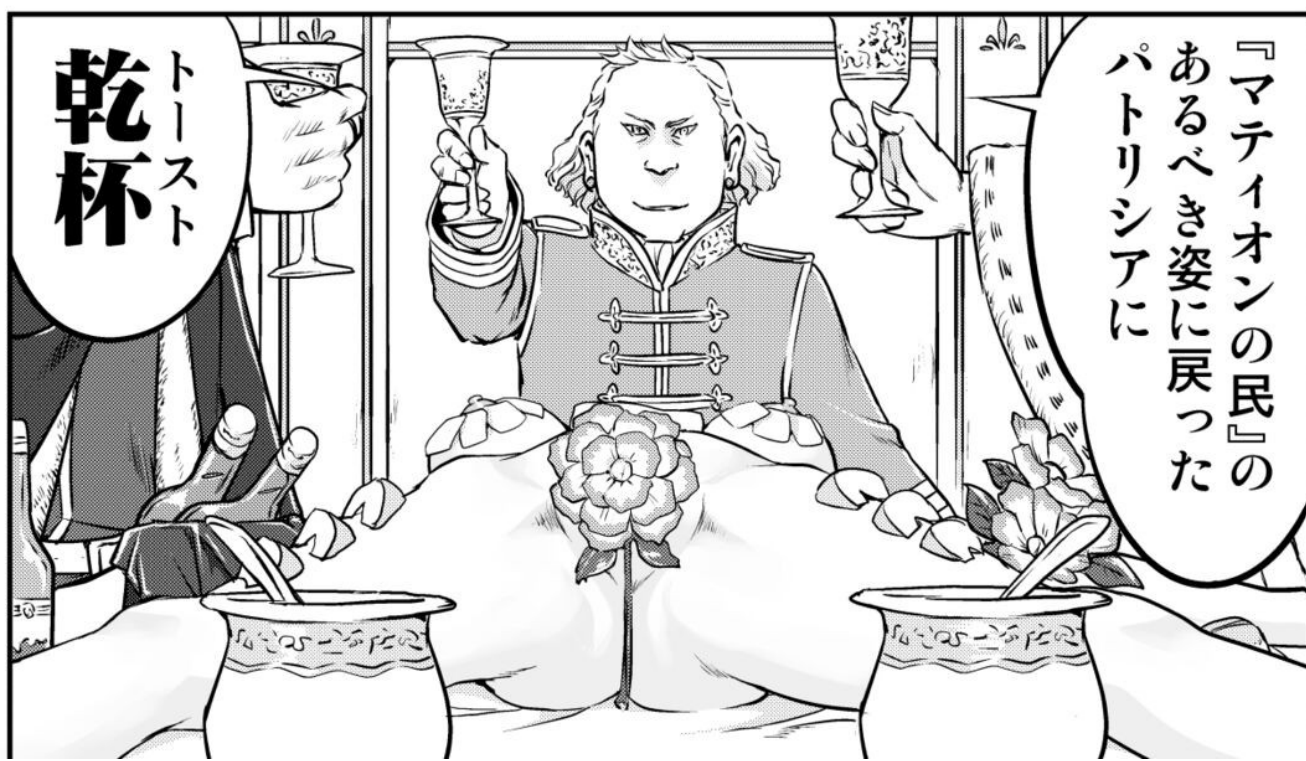


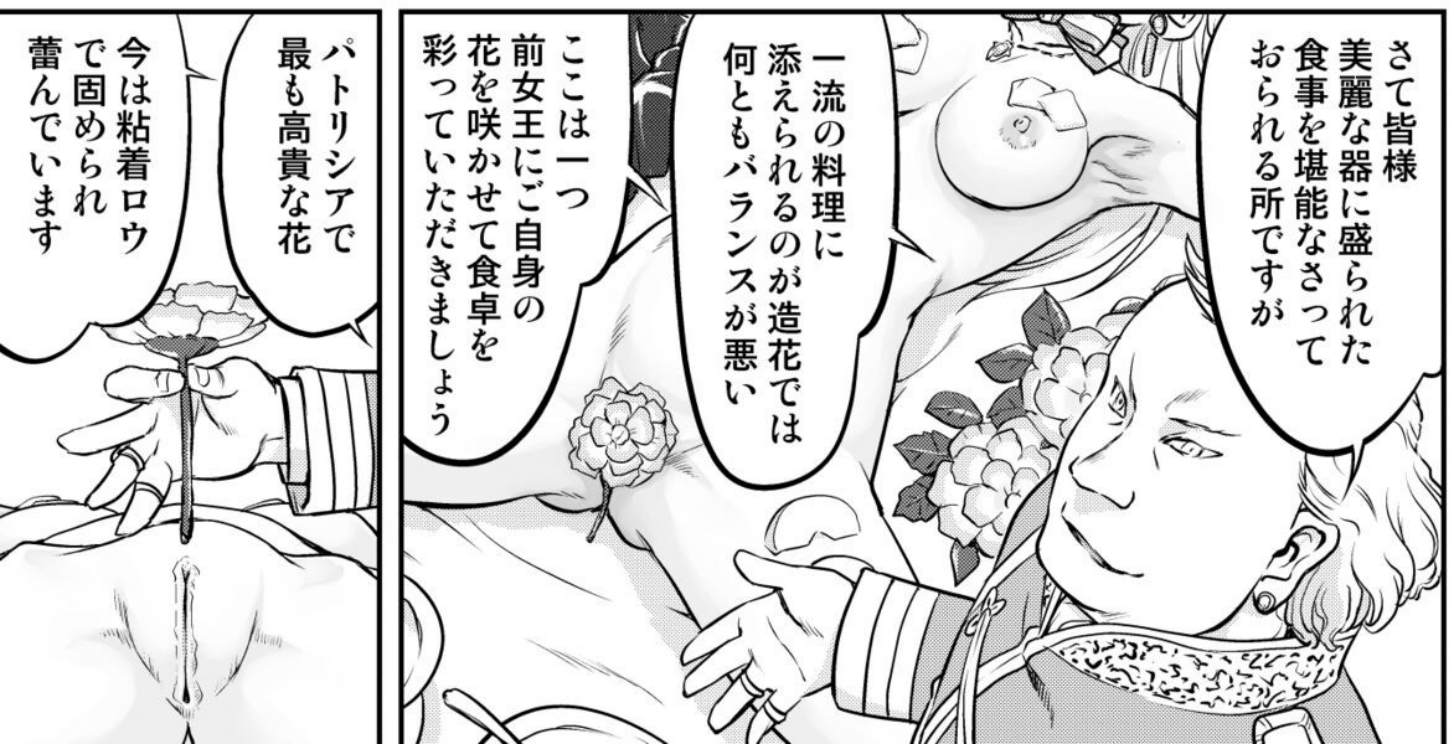


これが
マティスの
降伏勧告に

素直に
従わな
かった
者の
姿で
す









それでは

ナイフを
入れましょう



蕾はまだ
閉じたままです



開き
ました!



恥ずかしがりの
花はまだ姿を
見せてくれません



いったい
何枚めくれば

女王様の秘奥へ
辿り着けるのでしょうか



三枚目のガードを
突破します

おお

皆様
やっと隙間から顔を
覗かせてくれました

ゴムのテープを
持て

ああ…奥の方が
引っ張られてる

ほっ…

なんと…女王様は
花だけでなく

グッ

さね
実も晒すことを
御所望のようです

満開で
ございます

国を奪われる宴会の
器となるだけでなく

自身で花まで
添えてくださった
女王様に拍手願います

はは…は



…分からない

私はただ自分も国民も
幸せに出来ればと思った
だけなのに

なぜこんな目に会ったのか
何か悪い事でもした…？



でもどうやら
初対面のこの人は
私に対して酷く
腹を立てていて

その怒りを
ぶつけてる
みたい…



それよりも王様達！
何拍手なんてしてるのよ

こうなったのは貴方達が
助けてくれなかった
せいでもあるのよ！



こうなったら
いつそトコトン惨めに
された姿を見せつけて
やろうかしら

少しは良心も
痛むでしょ

せいぜい後悔して

自分達の時には
奥さんや娘達のために
恐れることね！



さて皆様方
女王は無意味に花を
咲かせた訳では
ありません
余興の準備でも
ありました

ゲームのルールを
自ら説明して頂きましょう

王の方々
順番にフラッフの実を
指でお押しください

白玉はハズレ
赤玉はアタリで
ございます

当選者には
元パトリシア女王の
純潔の花を捧げます

意外にしっかり
した声だ

こんな目に会っても
まだ完全には氣力を
失っておらんか

どうです

余興の景品としては
十分だと思いますが

それでは北から順に
ノースランド国王
どうぞ

今攻められては
敗北だ！狂人の遊びに
付合うしか無いか

よく分からんが
女芯を押せば
よいのか？

痛からうから
せめて優しく
触れてやろう

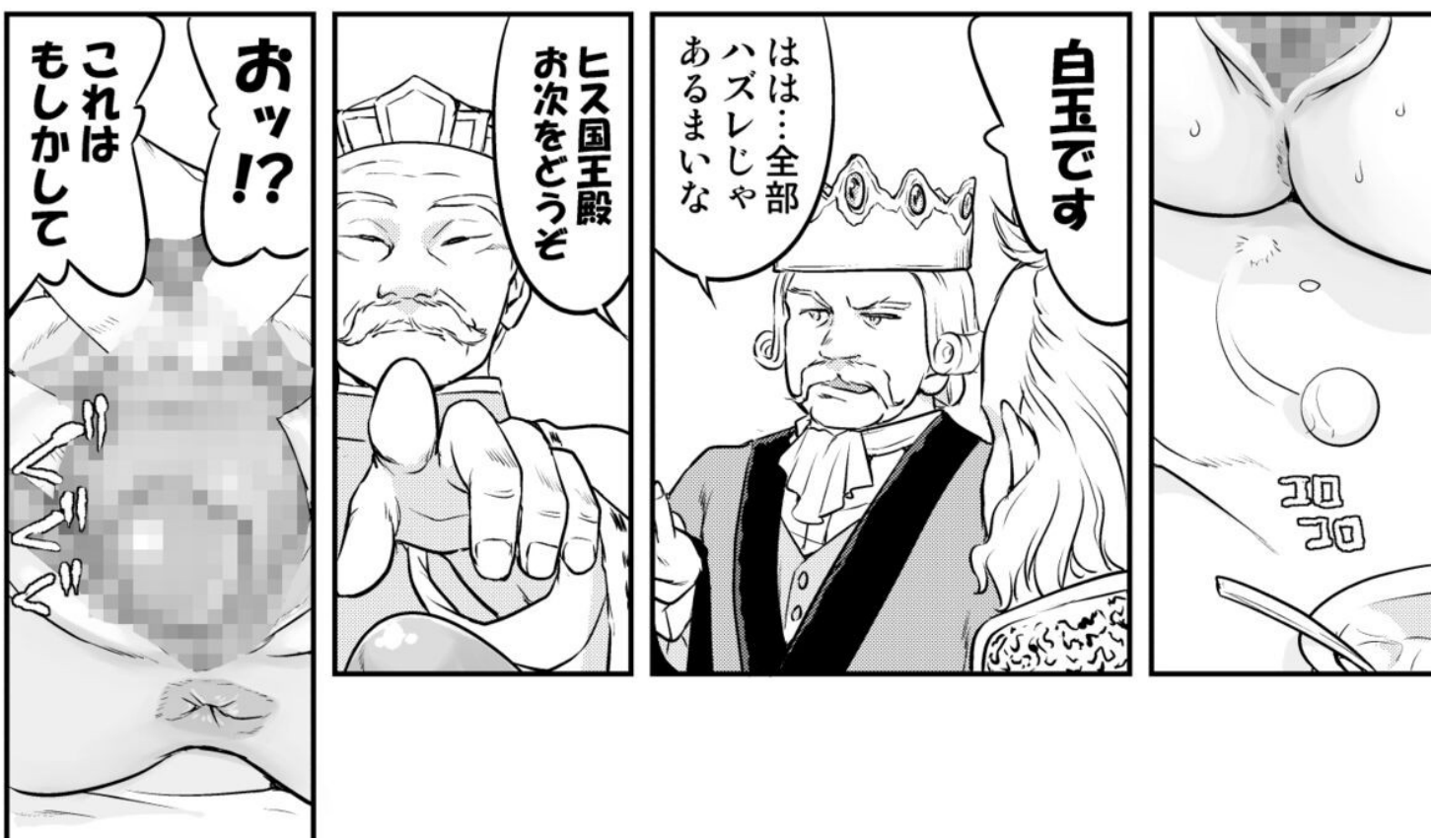
ン…

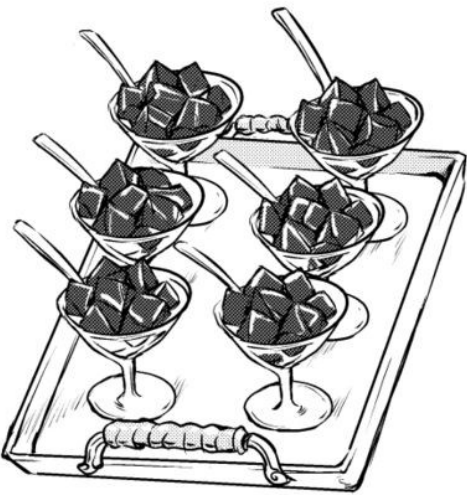
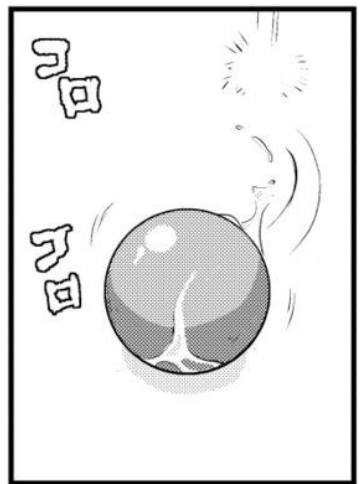
何も起きないぞ
どうすれば
いいんだ？

オイ
本気でやってるのか？

や…
やってまふ

場がシラケるだろ
死ぬ気で出せ！





おめでとう
ございます

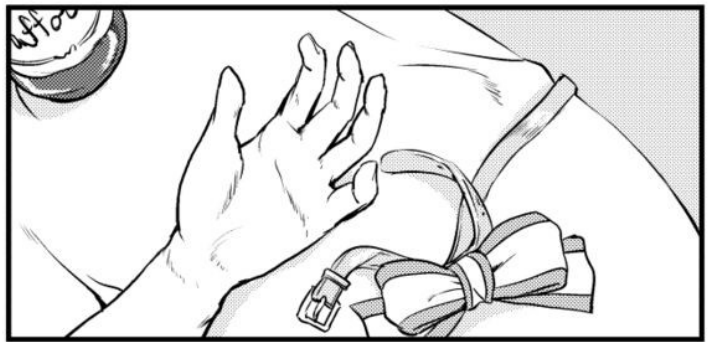
ゲームの勝者は
ヒス国王に決定
致しました!

デザート
のコーヒ
ーゼリー
です器
は6つ
ありま
す

残念な
がら
お見
受け
した
所
皆
様
寛
い
で
は
お
ら
れ
ず
慎
重
に
私
が
手
を
付
け
た
も
の
を
選
ん
で
お
ら
れ
る
ご
様
子

最後
くら
いは
安
心
し
て
先
に
お
取
り
く
だ
さ
い

残り
を
私
が
最
初
に
頂
き
ま
す
の
で



どう
しま
した

次の
余興
です
よ
早く
ポー
ズを





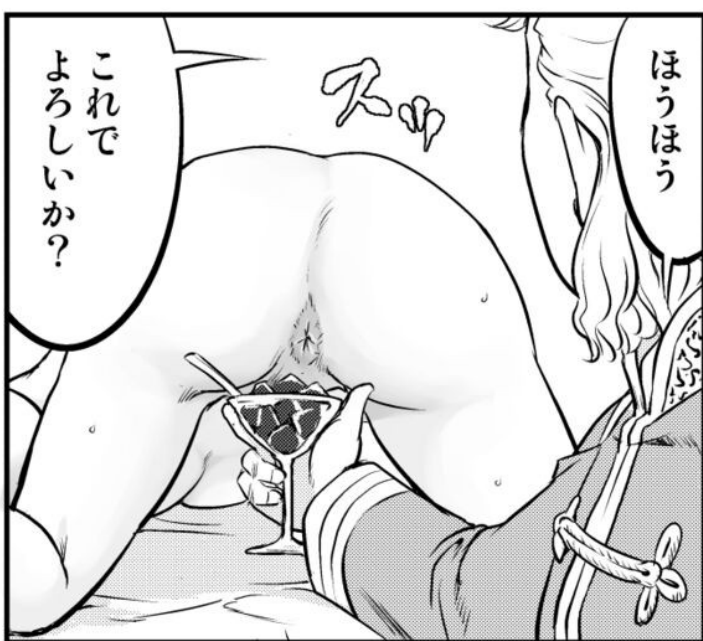
…デザートに
トッピングをさせて
頂きますので

私のお尻の下に
グラスを当ててください

ほうほう

スッ

これで
よろしいか？



はい…

オ…オイ
まさか！

そんな趣味は
ないぞ！

勘弁してくれッ





先に毒見を
いたしましょう

では私が

白い

えッ!?



これは
生クリーム
ですな

うーん



クリームが
汚れることは
ありません

出口はキャップで
固定されてますので



なんと女王は
この余興のために

肛門から
豚の腸袋を
差し入れて
お腹にホイップ
クリームを詰め込んで
おられるのです!

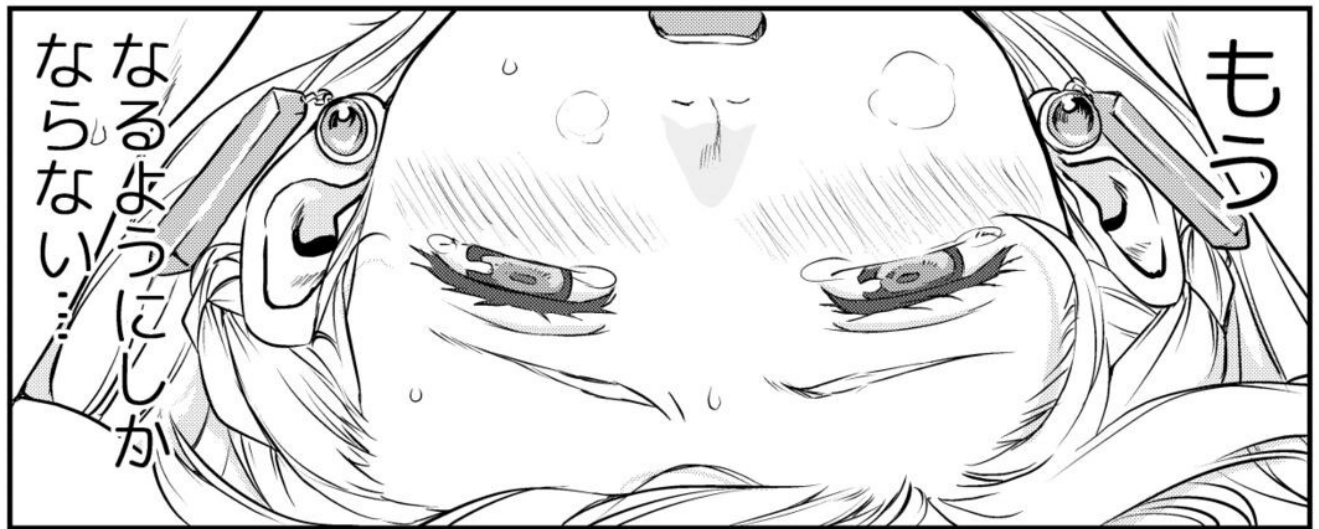
うう…
みじめ

みじめ過ぎて
胸が締め付け
られる…



もう

なるようにしか
ならない…!!



いっそ
女王からどこまで
堕ちれるのか

飛び降りて
見てみたい気すら…



えっ…あつ…
垂れて来た

どうしてー？

拡げられてる
から隠せない

切ない…



もういい

何もかも
見るといいわ





いやいや
私はもう歳で
そんな元氣もない

権利は王座を
継ぐ貴方にお譲り
しましょう

それが
良い

なるほど

先輩の方々のお言葉
素直に従いたいと
思います

では私が
パトリシア女王を
犯すのに

王達は合意された
ということでは
よろしいか

後から自分は
反対したなどと
言われても困る

やられた！

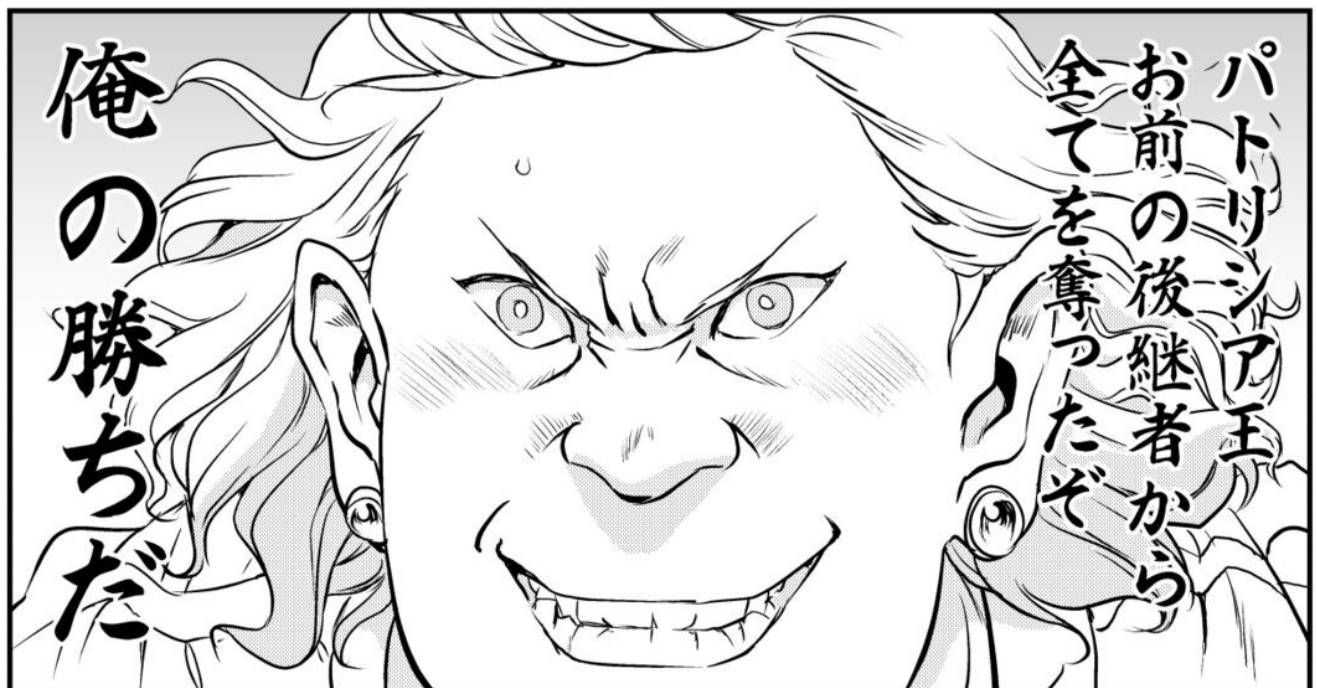
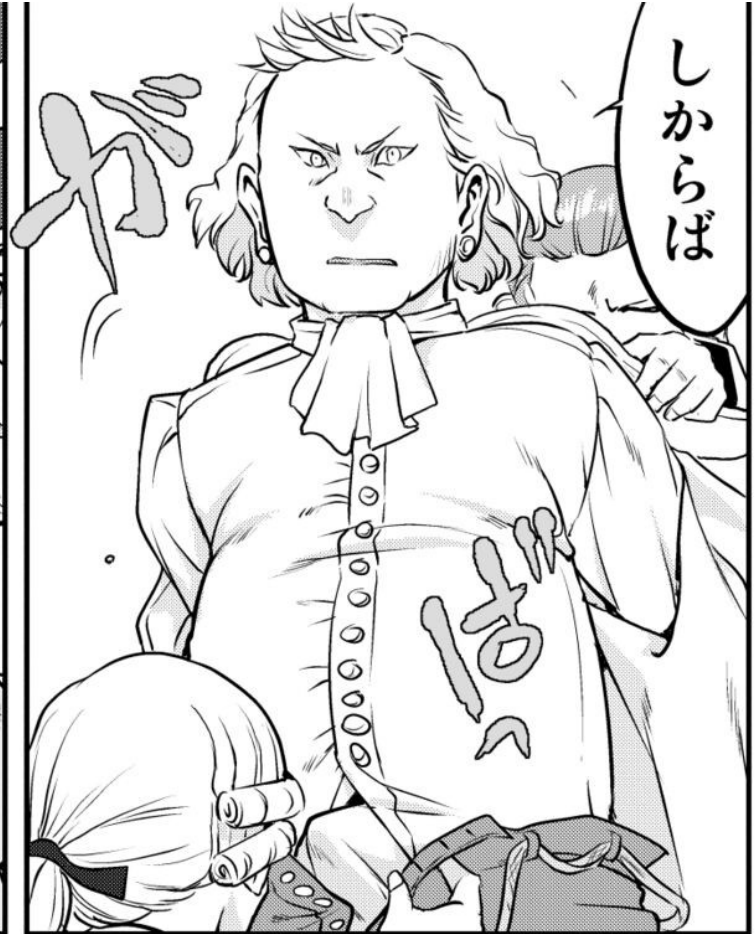
我々を証人に
しおった

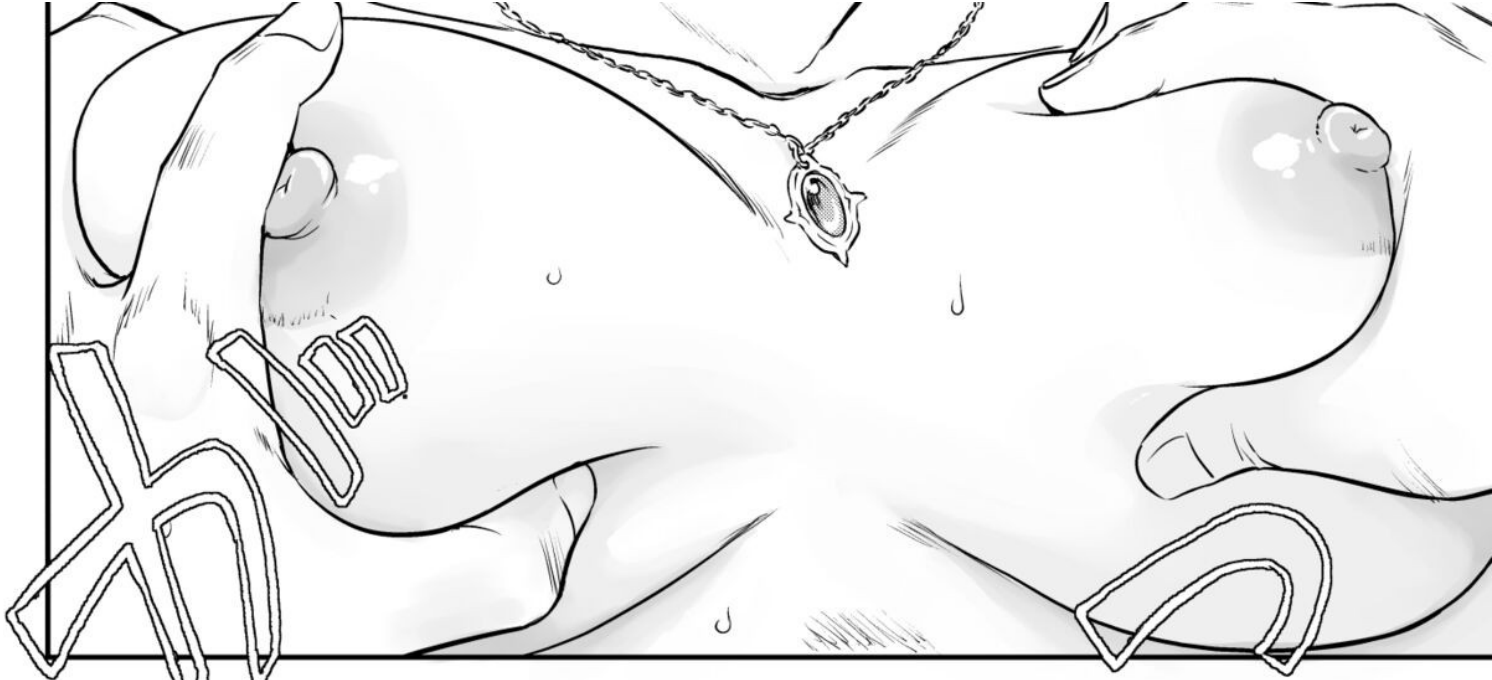
これが
狙いか…

コイツ油断
ならんぞ

どうぞ

我ら反対は
致しませぬ





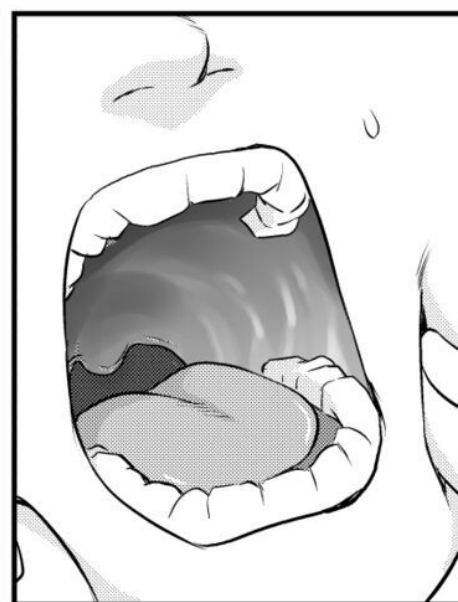
あの…
国民のこと
宜しく願います



あ？…悪いよう
にはせん
そ…それと
地下牢の
囚人達に恩赦を！



俺を
甘く見るな
全ては
お前次第だ！
口を開ける

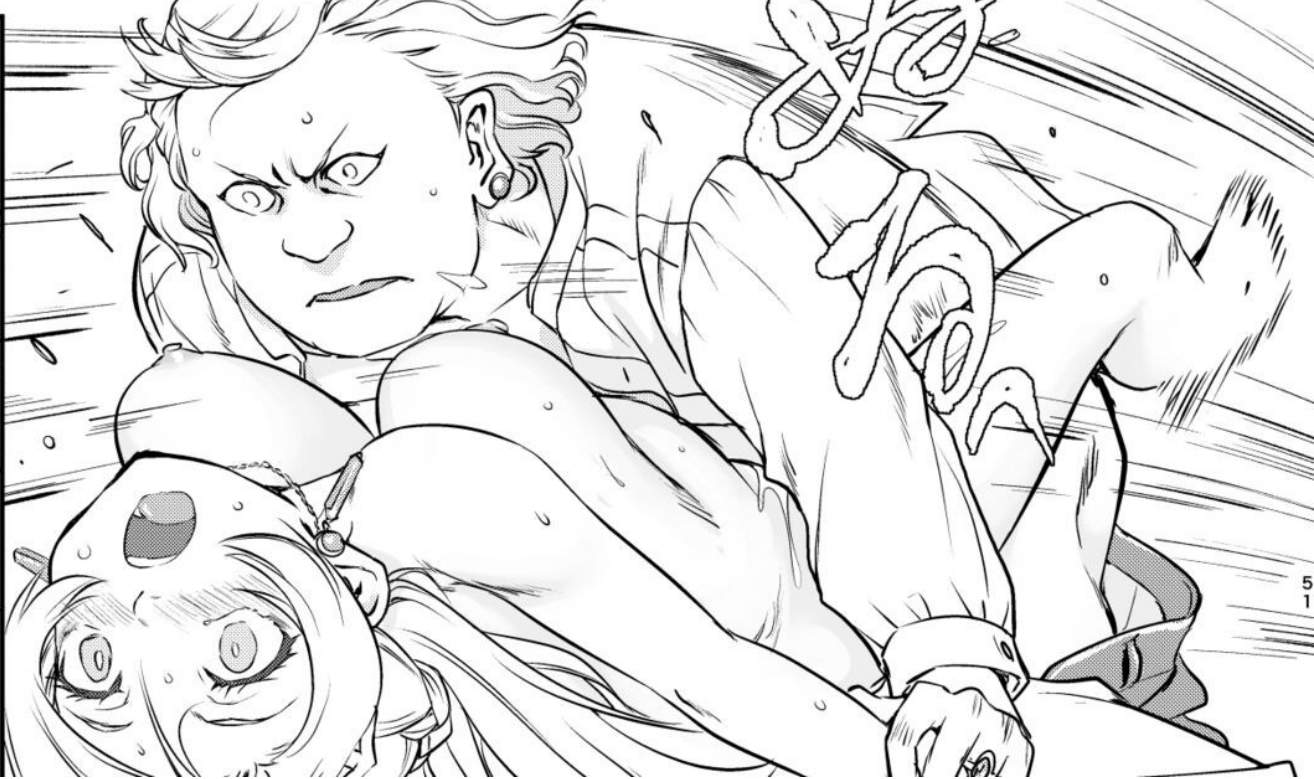
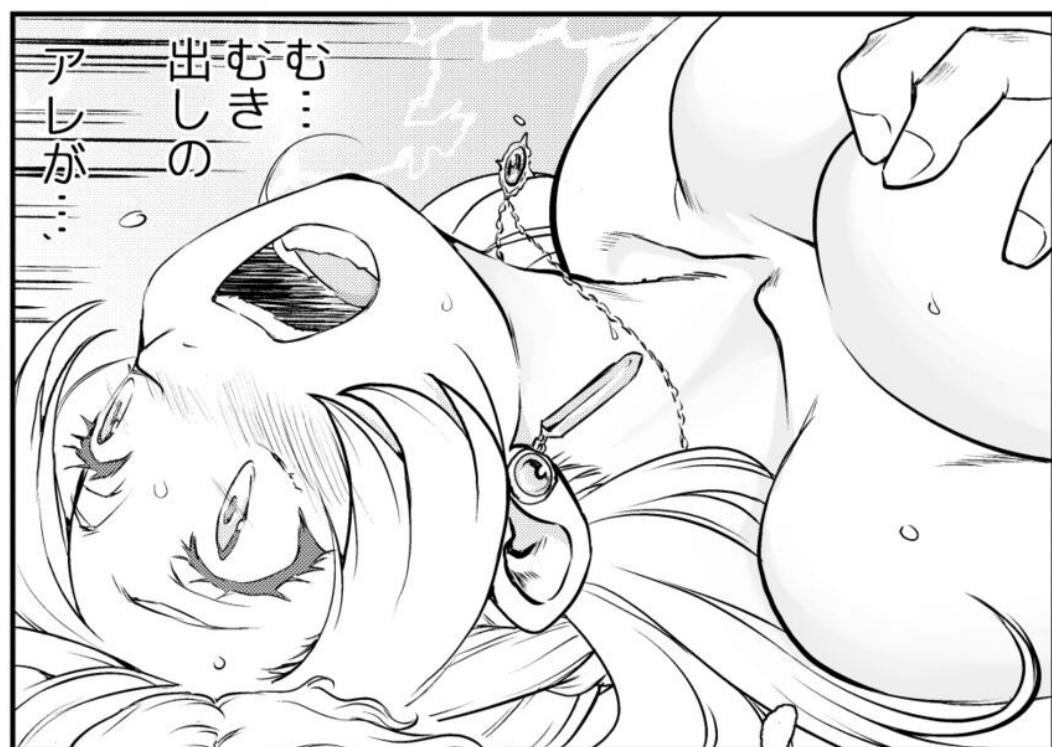


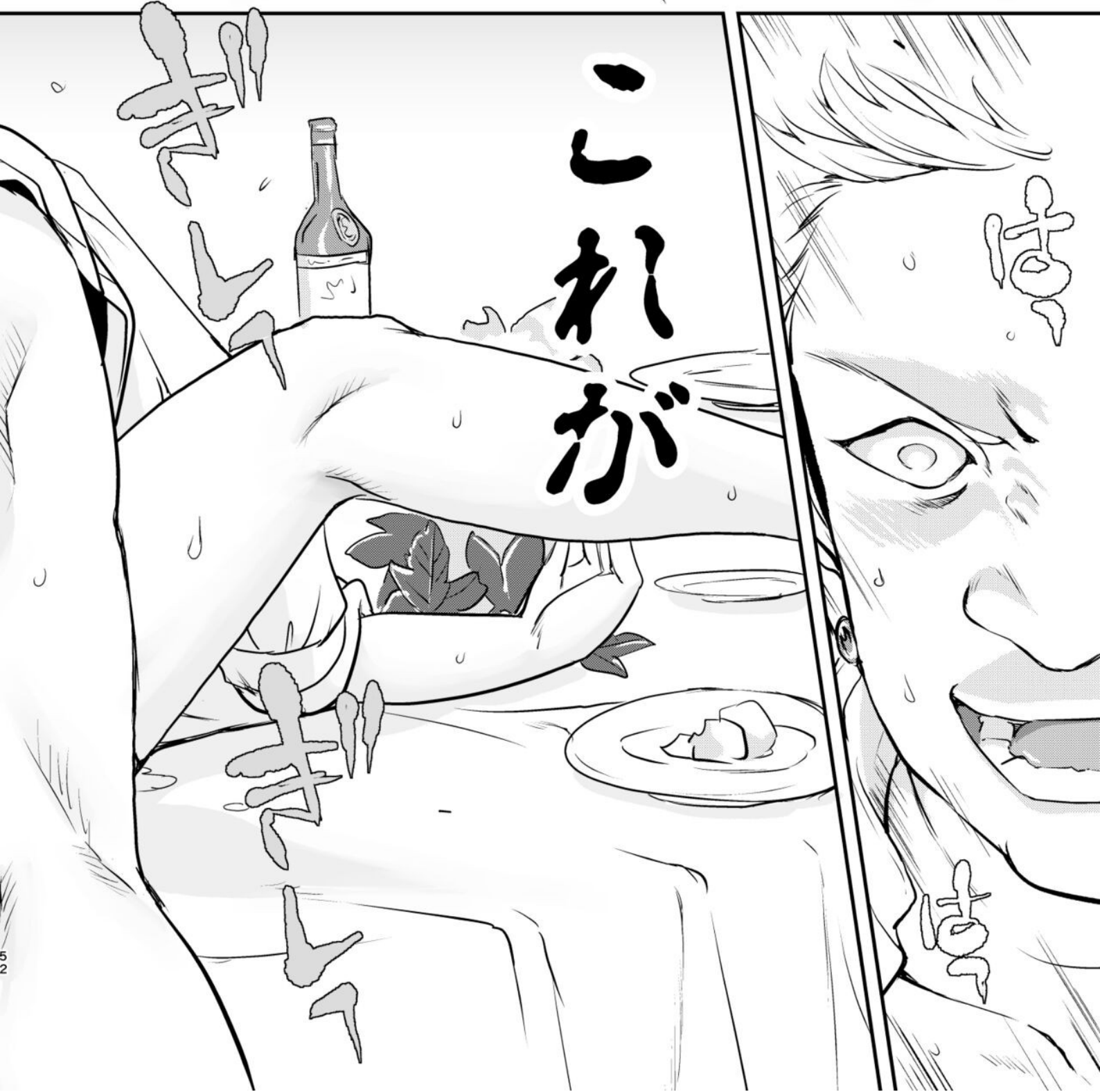
いやる

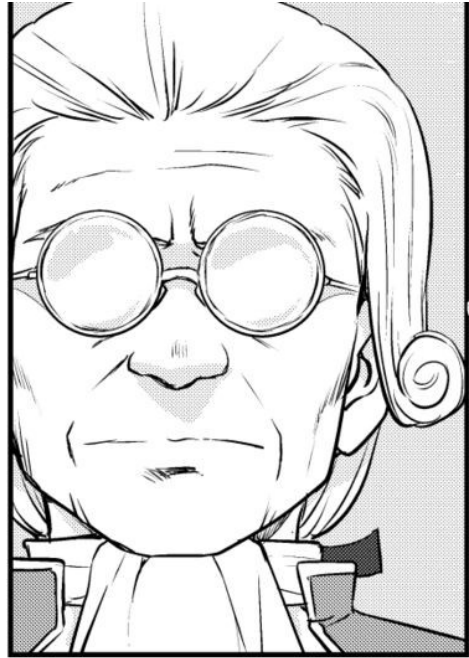


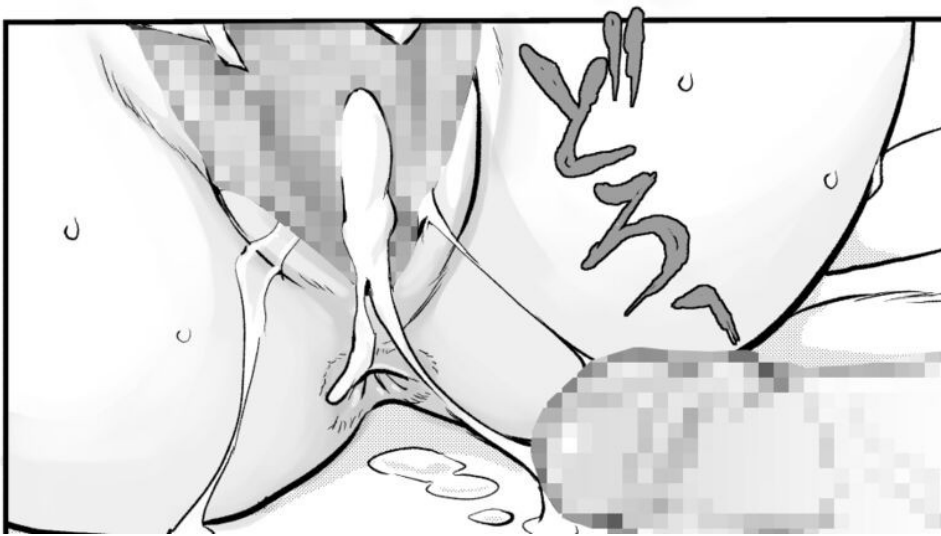
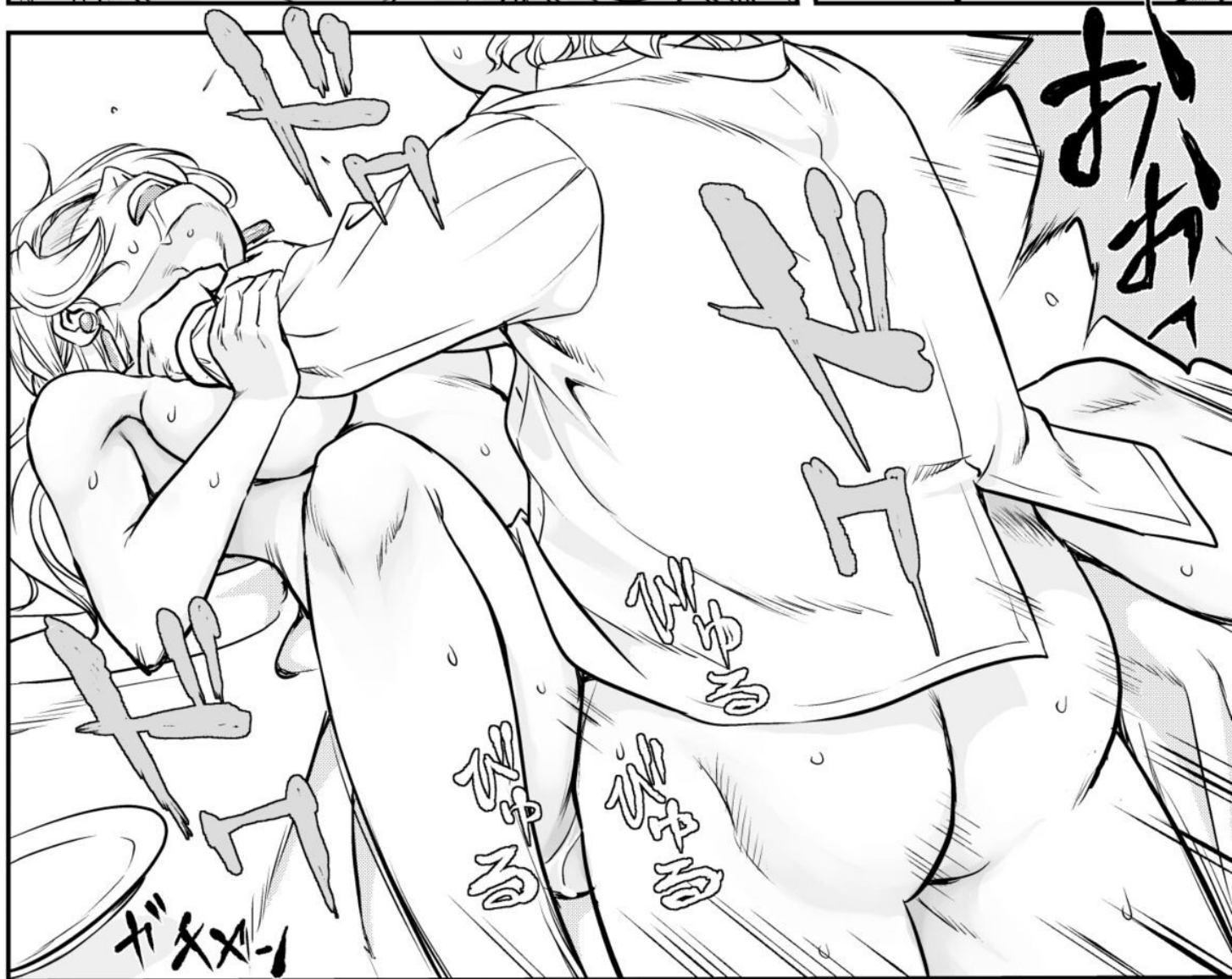
飲め

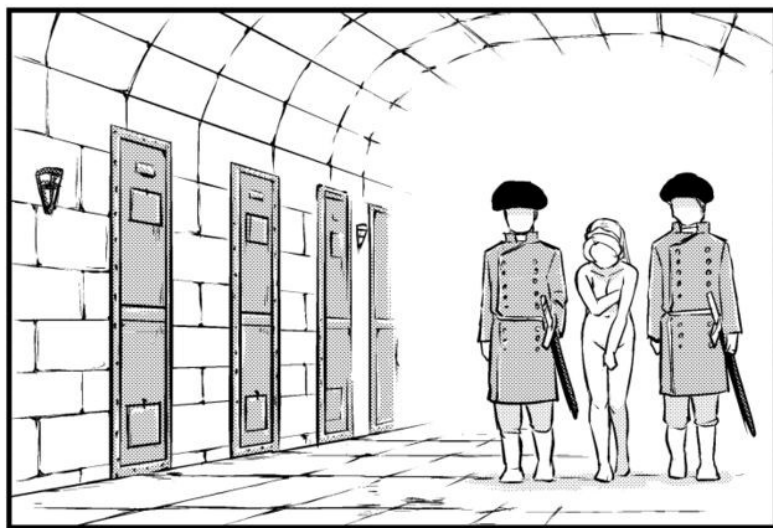
甘
甘

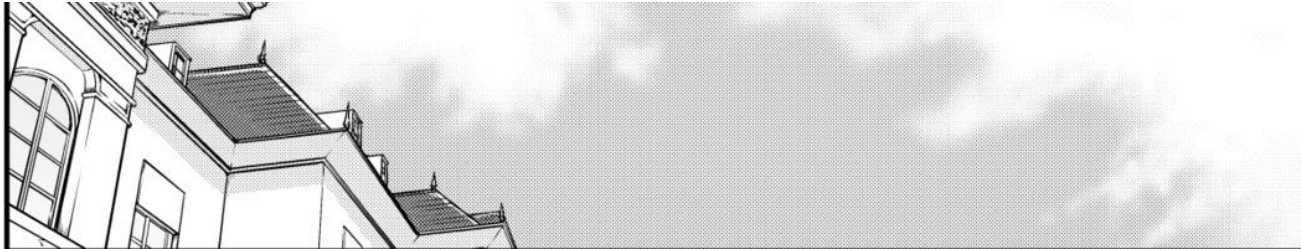


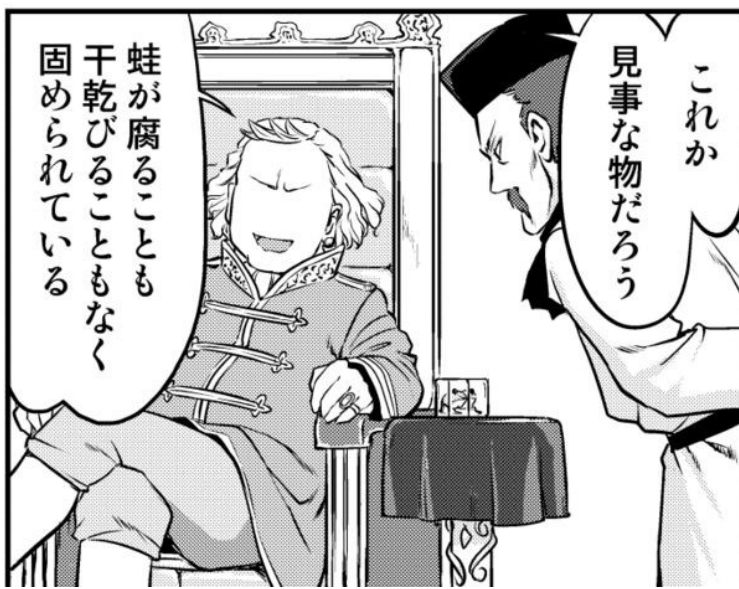
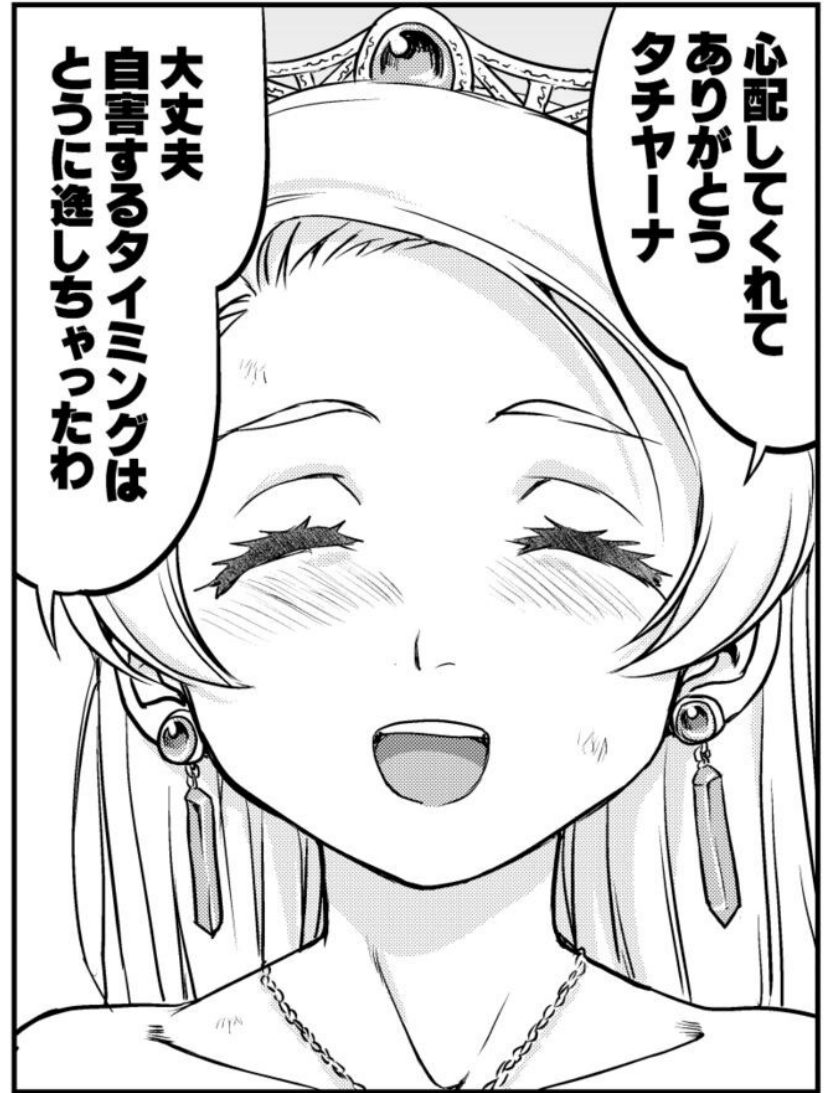












父上も老いた

いつしか
不老不死の妄想に
取り憑かれ

医者や魔術師共に
湯水のように
金を与えておる

お前は信じるか
不老不死

さて
分かりませぬ

父上はいつまでも
完成せぬ不老薬に焦り
今度は肉体を
完全なまま保存する
研究も命じた

シノヤンクス鉱山
近くの温泉には
動物の死骸が腐らない
不思議な泉があつてな

その湧き水と硝子の
成分を混ぜた後

漬け込んで
固め精緻に切断
したのがこれだ

こうして身体を長期保存し
不死の方法が見つければ
蘇るつもりらしい

ははあ
夢のような話ですな

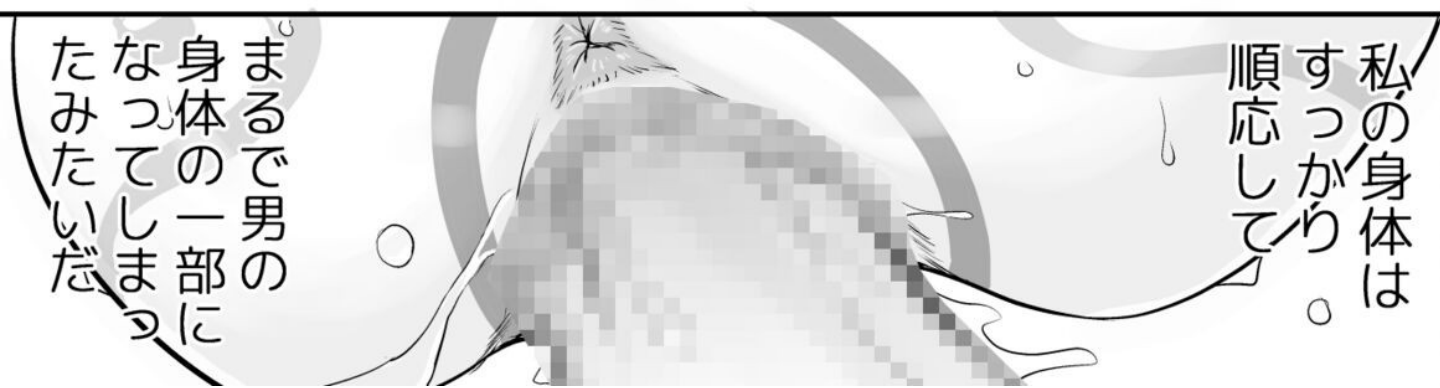
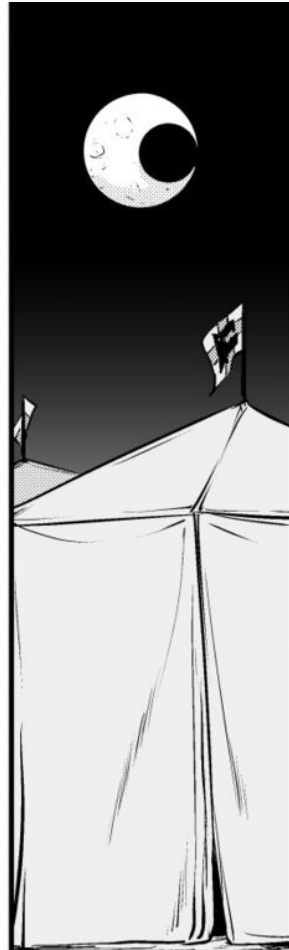
ところで陛下
女王から
装飾品を没収して
まいりました

ああ

アイツの役目は
もう終わった
むしろ邪魔で
すらある

それと

他にも
役割が終わった
奴がいる



いったい
どれだけ精を
注ぎ込まれたろう

この男に
捕らえられ
てから

また
イクッ

イ…イク！

まるで男の
身体の一部に
なってしまう
みたいだ

私の身体は
すっかり。
順応して

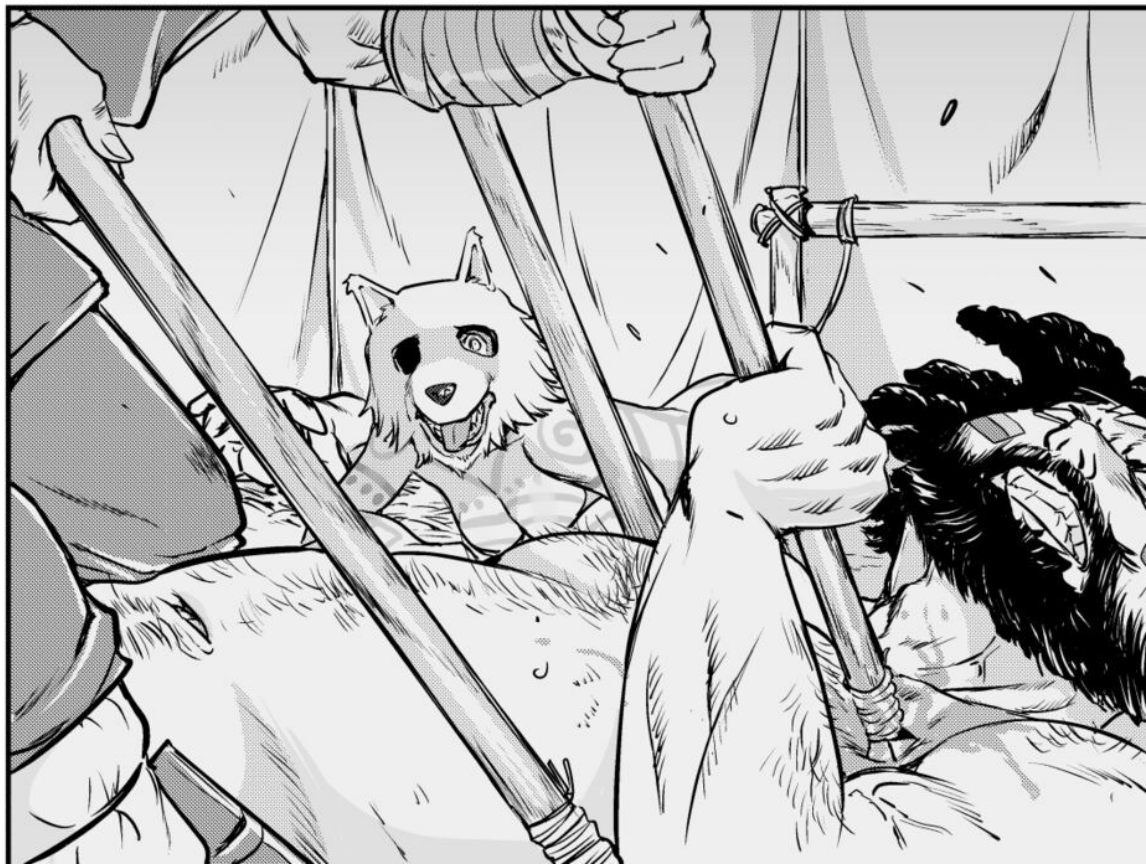
このまま

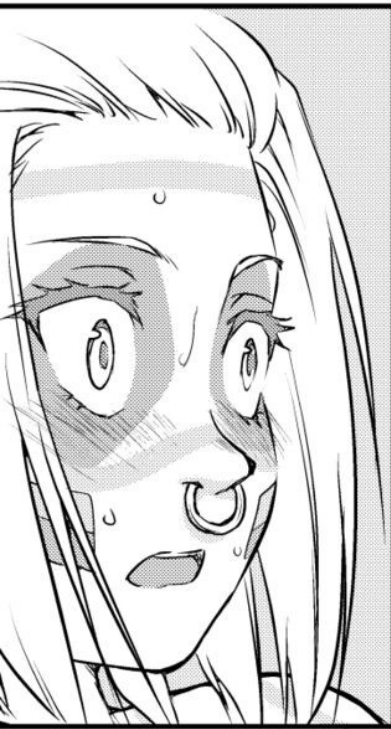
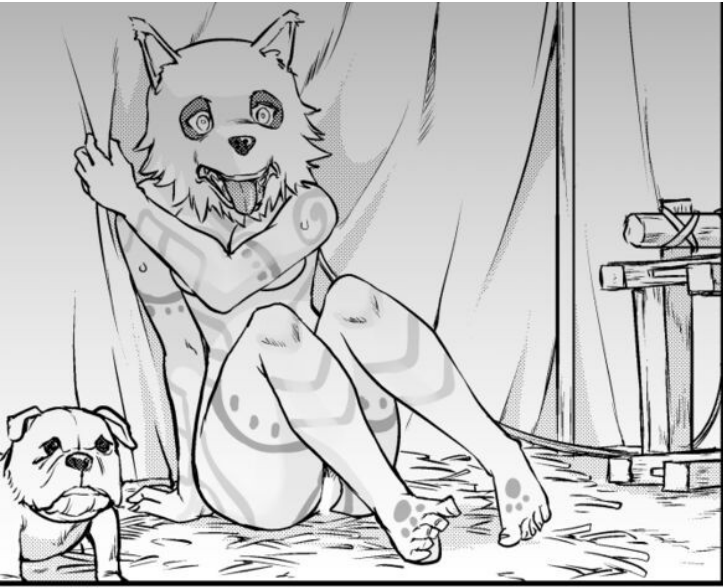
フューリアスの
引揚げと一緒に
連れて行かれて

向こうで皇子の
ペット妾みたい
に成るんだらうか

それも
悪いばかり
じゃない…

これだけ
面目を
失った以上
もうここでは
生きて行けない







反乱から数日後

フューリア族は
皇太子ステパンから
遠征の報酬を
受け取る

傭兵として
残留を望んだ
一部を除き

大半が
故郷へと
帰って行った



蛮族が去った一週間後

警戒心の強いステパンは
城の旧スタッフを全員解雇し
退去させた



陛下のお世話が
心残りだけど

社会の大変革の前に
個人は無力だわ…



一方、5国の王達は帰国
するとすぐに徴兵制を
敷き再軍備を開始した

同時に首脳会議を重ねて
今後の対応を協議

死文化していた
120年前の
同盟条約を
引っ張り出し

加盟国が第三国から
攻められたら
全ての国が参戦の
義務を負う強力な
軍事同盟に格上げした



そうして
タチヤーナ達が
城を去って一月後

服役中の
前女王は
病で獄死した
と公示された

前女王は最後に
医学の発展のため
献体を申し出て
新王の恩赦を受け
名誉は回復された
と報じられたが

余りに早い展開に
暗殺されたとの
噂が絶えなかった

そして 2年の歳月が流れた

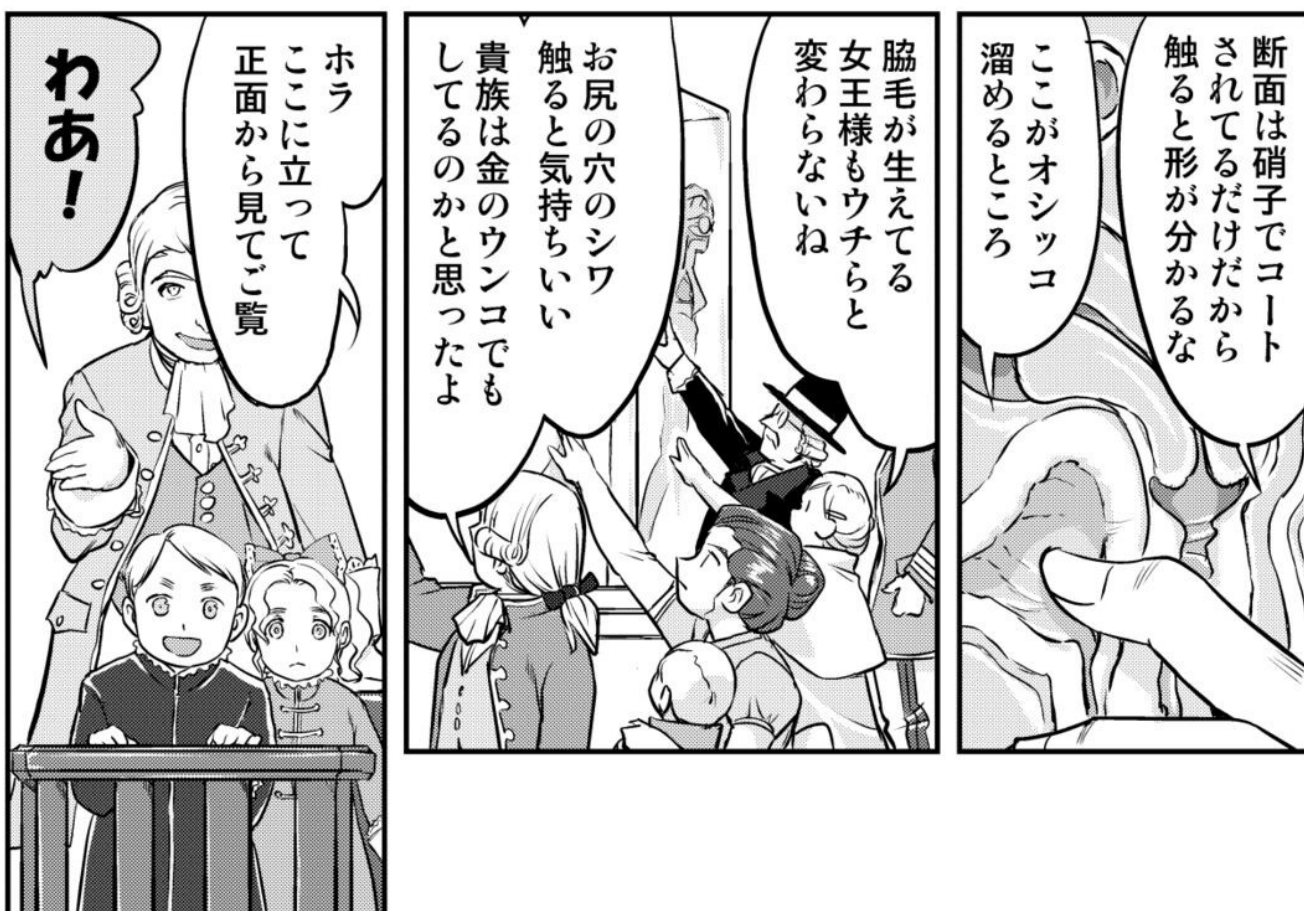
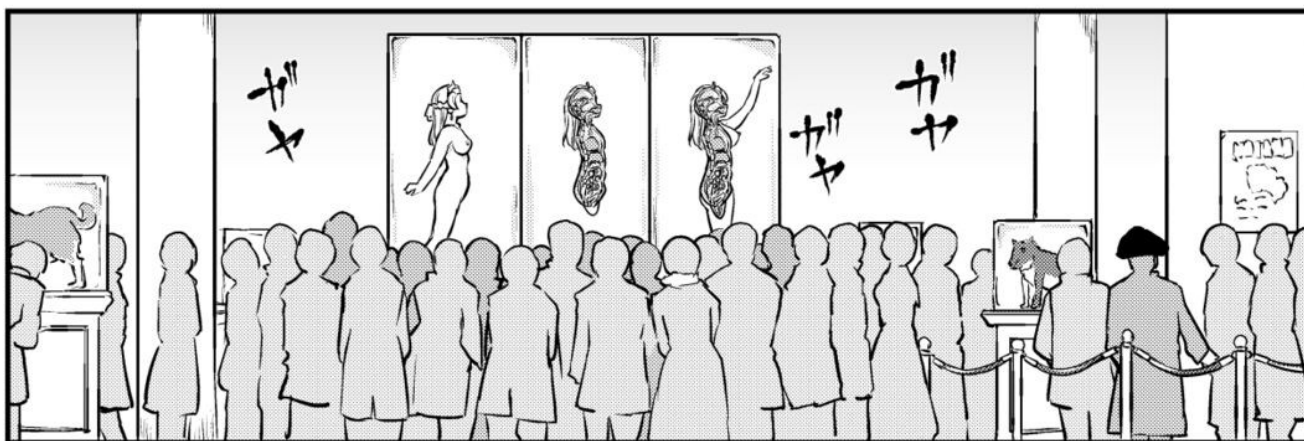


ああ
新しい博物館なら
一つ西の通りだ
混んでるから
すぐ分かる





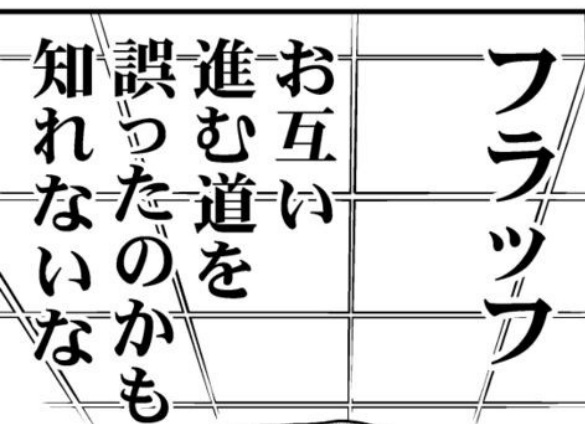
Exhibit
Anatomical figures
of a woman
in a museum





拷問での暴行死や
餓死させられた
という噂が

違ったようで
良かった…



フラツフ

お互い
進む道を

誤ったのかも
知れないな



ちゃんとした
女王様が
手を振ってるよ

ホントだー

タイニー・パトリシアの
死亡を役所で確認した

私はもう
存在しない人間だ
帰る場所はない

その後



地方の
劇場酒場に
『入墨の女』
と呼ばれ

人気を博した
踊り子がい
たという



8年後 マティス国王
ワシーリイ三世が死去



『不老不死の薬』を
大量に服用した
その遺体は
痩せてどす黒く
実際の年齢より遥かに
老けて見えたという

国葬後、皇太子ステパンや妾の子
さらに重臣と豪商達による
権力闘争が激化

要人逮捕や
暗殺が相次ぎ国は混乱した

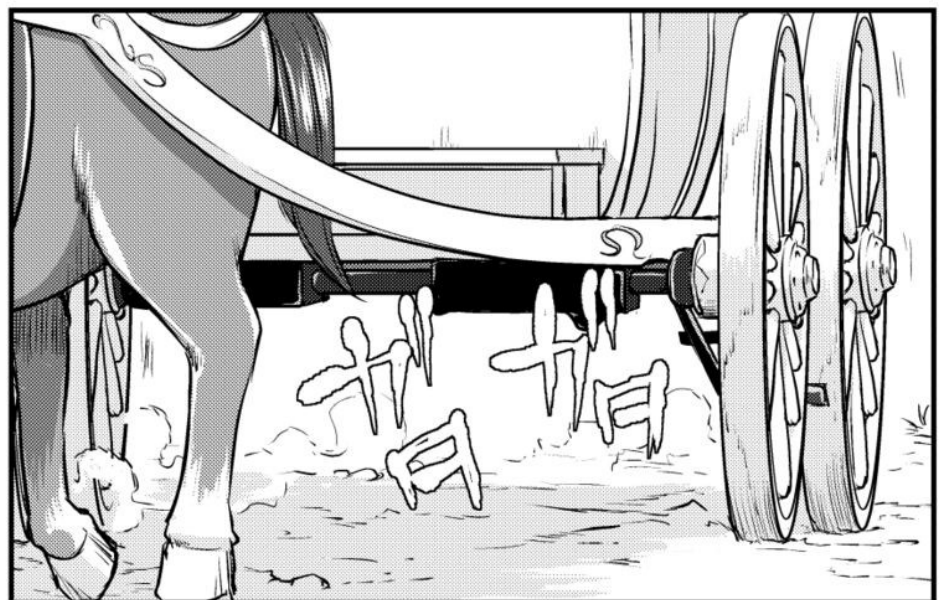
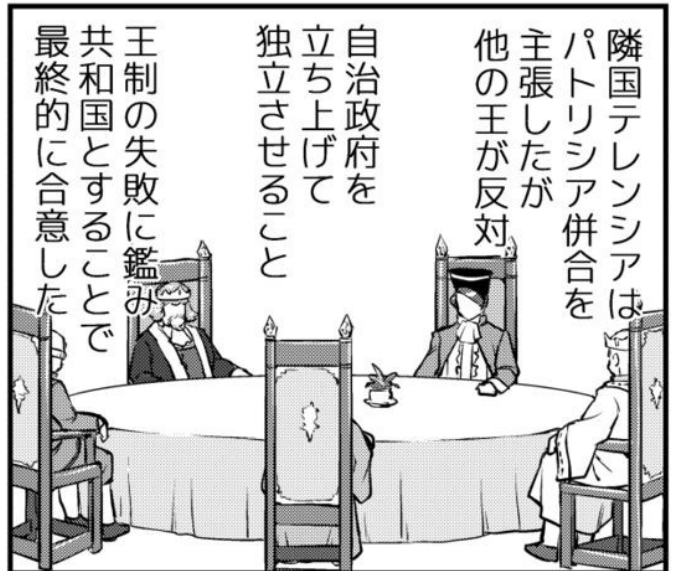


好機と見た
五国同盟の連合軍は
旧パトリシア領へ進軍

ステパンは
たいした抵抗も出来ず
自国へ敗走した



だが傭兵として残った
フューリアスなど
一部が王都で抵抗
戦闘によって
市内では
火災が発生し
博物館も倒壊
展示物は焼失した



おお
これはッ

博物館と一緒に
焼失したんじゃ
なかったのか!!

ずっと
グレブス氏が
保管されて
いたのか?

ハイ
内戦の時に
お屋敷に運び込まれて
それ以来納戸の方に

お館様は
御身体が不自由に
なられてからも

しばしば
部屋へ運ばせては
鑑賞なさってました

その際のお世話
は私がしておりました

フラッフ

君は
少しも変わらず
あの頃のままだな

ハッ
ハッ

久しぶりに
元気に成りおったわ





✧ 女王陛下の降伏 終り ✧

おまけの後世譚

パトリシア共和国	マティス領 パトリシア	パトリシア王国
グレブス大統領	ステパン王	パトリシア10世
1754	1738	1730

フラッフ・パトリシア
(?~1730)

在位4ヶ月。
先代パトリシア10世の娘ということ以外殆ど記録が残っていない。

占領軍との交渉の席で失禁した事と死後に遺体が一般公開されたというエピソードが後世の画家や劇作家の想像を掻き立て、それをモチーフにした作品が多数存在する。

中でも女王を有名にしたのが劇作家ベリエが民間の伝承を元に書いた喜劇『女王フラッフ』である。

この中でフラッフは若い美女となっており公衆の面前で脱糞を強要されたり死後は剥製となつて博物館に展示されたり非道でセンセーショナルな扱いを受けている。

だが実際には他にそのような記録は残っておらず歴史家達はこれをベリエの創作と見ている。

なお作中にはグレブス初代大統領が悪役として登場する。



ベリエ作
『女王フラッフ』(1801年)

後書き

どうも蛸壺屋です。

2023冬コミはオリジナルエロ《女王陛下の降伏》の最終回です。
無事ラストまで描けてホッとしています。

今回は前回描けなかった女体盛りと、ラストの人体の不思議展が大きなネタでした。
唐突に出てきたように見える人体標本ですが、実はこのラストが最初に決まっていた。1作目を出す時に、知り合いにラストはどうなるのと聞かれてスライスされた人体標本になるんだと答えました。というのも以前、有楽町で実際の人体の不思議展を見に行った時老若男女で通路制限があるくらい大混雑していたので「みんな気持ち悪いより好奇心の方が強いんだな」と強く印象に残り、いつか描いてみたいと思いました。

むしろフラッフ女王の本番の相手がしっくり来ずになかなか決まりませんでした。今回の新キャラステパンでストーリーの業（カルマ）的に上手く収まった気がします。どうでしょうか。意外やタイニー団長が生き残ったのは何となく白鯨のラストをイメージしてました。

作業的には前回から肌の塗りにようやくグレーの水彩を使うようにしたので立体感が少し増したのではないかと思います。その代わり仕上げ時間が2割ほど長く掛かるようになりました。しかも頑張って塗った性器を面でガバッと消さないといけないのはなかなか残念ですね。

ともかく、初のオリジナルエロで描きたかったシチュをあれこれ詰め込んでみたシリーズでした。ダウンロード販売の反応も予想より良かったので次もあれこれ頑張りたいと思います。

ではまた、次回お会いしましょう。

誌名 女王陛下の降伏 牢獄編（ダウンロード版）

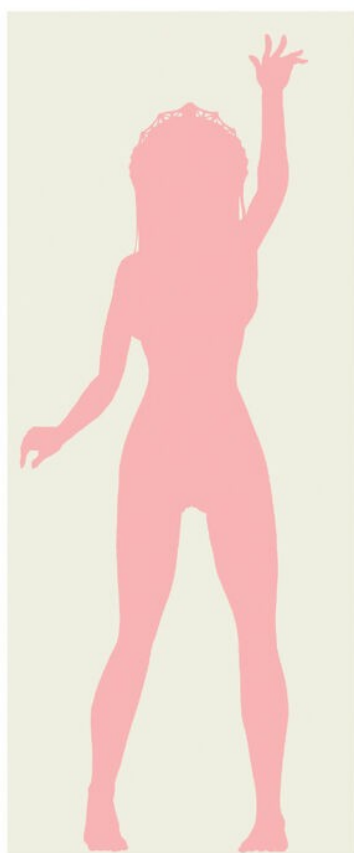
発行者 蛸壺屋

発行日 2023年 12月31日

ご意見ご感想は下記アドレスまで
URL <http://takotuboya.jp>
E-mail tk@takotuboya.jp
Twitter @takotuboya
Pixiv 1108775
Circle.ms 10018834

女王陛下の降伏 牢獄編

女王陛下の降伏 牢獄編



TAKOTUBOYA